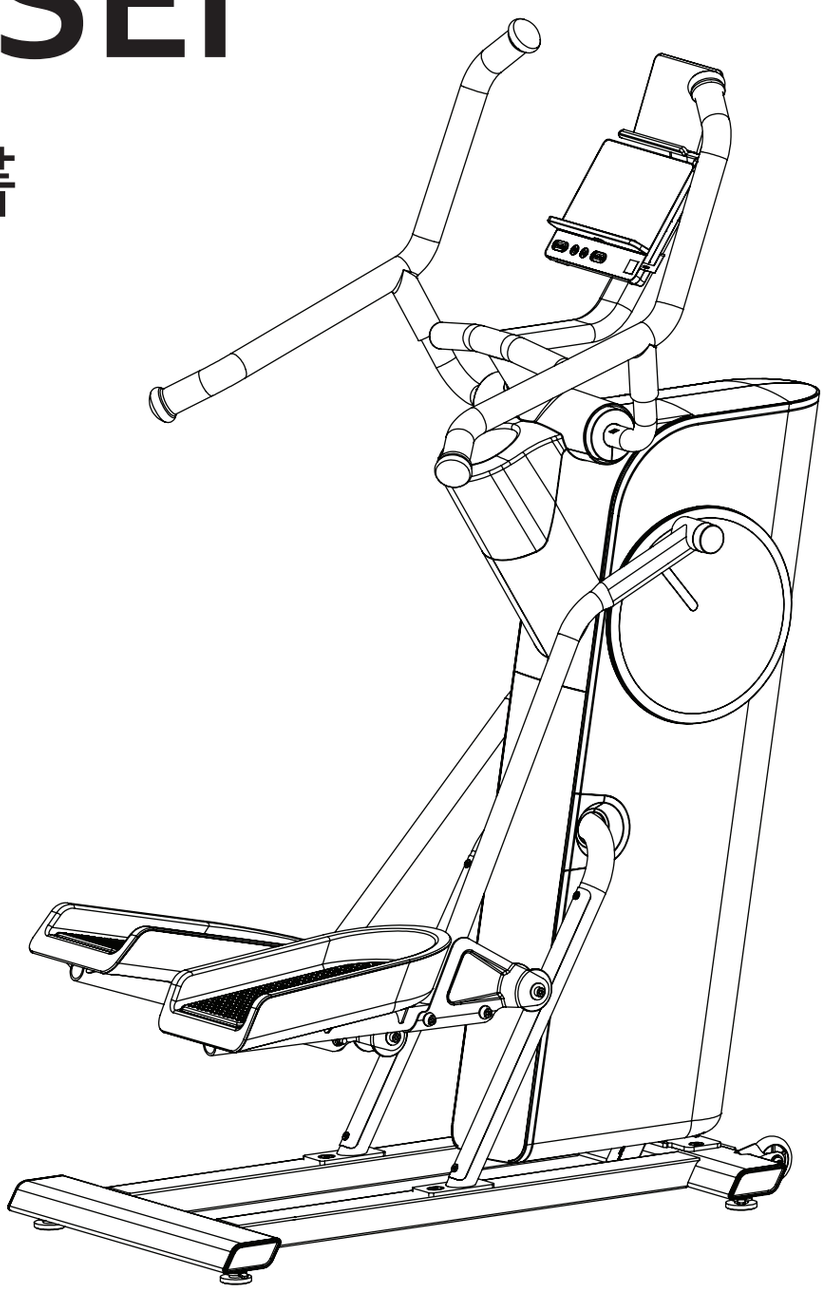
BowFlex™®

Max Trainer SEi™

組立/取扱説明書



もくじ

注意事項

購入情報 4
安全上の重要な注意事項 5

組立方法

仕様/組み立ての前に 9
組立ツール、部品組立方法 10

機能

機能 31
コンソール 32
JRNY™ アプリ 33
その他のアプリとBluetooth心拍計 34

操作方法

操作方法 36
コンソール設定モード 40
メンテナンス 42
トラブルシューティング 44
愛情点検 48
保証とアフターサービス 49
保証書と問い合わせ窓口 裏表紙

注意事項

保証サポートを有効にするために、以下の情報を記録してください。：

シリアル番号_____

購入日_____

電気機器を使用する際は、以下を含む基本的な注意事項を常に守ってください：

⚠ このアイコンは、回避しないと死亡または重大な怪我につながる可能性がある危険な状況を示しています。

以下の注意事項を必ず守ってください：

⚠ この機器に記載されているすべての内容を読み、理解してください。組み立て手順を注意深く読み、理解してください。

取扱説明書は将来の参照のために保管してください。

⚠ 注意事項

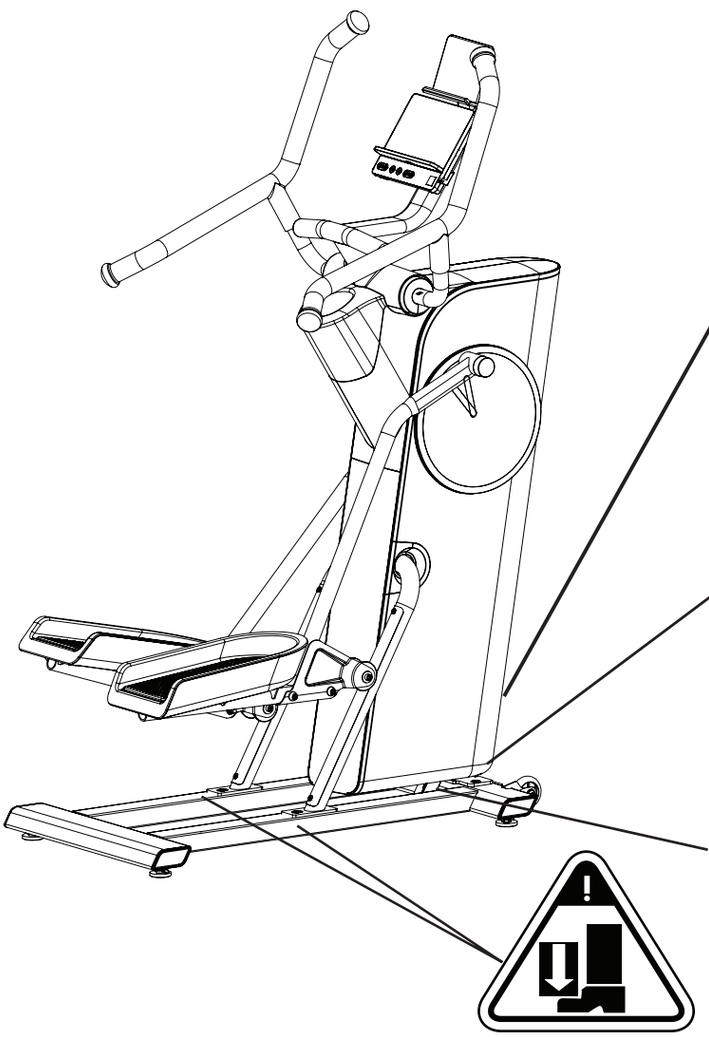
火傷、感電、または人身事故のリスクを回避するために、取扱説明書全体を読み、理解してください。

- 組み立て中は、周囲の人や子供を常に製品から遠ざけてください。
- 指示があるまで、機器に電源を接続しないでください。
- 感電や無人・無監視状態での使用リスクを減らすために、機器の清掃、メンテナンス、または修理を行う前に、必ず電源コードをコンセントと機器から抜き、5分間待機してください。電源コードは安全な場所に保管してください。
- 使用前に毎回、電源コードの損傷、部品の緩み、または摩耗の兆候がないか機器を確認してください。これらの問題が見つかった場合は使用しないでください。
- 医療上の問題があり、その問題が機器の安全な操作に影響を与える可能性がある場合や、ユーザーに怪我のリスクをもたらす可能性がある場合は、使用を控えてください。
- 機器の開口部に物を落としたり、物を入れたりしないでください。
- エア開口部が塞がれた状態で機器を操作しないでください。
- 機器を屋外や湿った場所、または湿気の多い場所で組み立てないでください。
- 組み立て作業は、通行人や周囲の影響がない適切な作業スペースで行ってください。
- 機器の一部の部品は重い場合や扱いにくい場合があります。これらの部品を扱う組み立て手順では、必ずもう一人の助けを借りてください。重い物を持ち上げたり、扱いにくい作業を一人で行わないでください。
- この機器をしっかりとした水平で平らな表面に設置してください。
- 機器の設計や機能を変更しないでください。安全性が損なわれる可能性があり、保証が無効になります。
- 部品を交換する必要がある場合は、必ず正規の交換部品とハードウェアを使用してください。正規部品を使用しないと、ユーザーに危険をもたらしたり、機器が正しく動作しなくなり、保証が無効になる可能性があります。
- 機器が完全に組み立てられ、取扱説明書に従って正しい性能が確認されるまで使用しないでください。
- 機器の初回使用前に、付属の取扱説明書をすべて読み、理解してください。取扱説明書は将来の参照用に保管してください。
- 指示された順序で全ての組み立て手順を行ってください。不正確な組み立ては怪我や不適切な動作を引き起こす可能性があります。
- **この資料は大切に保管してください。**

この機器を使用する前に、以下の事項を必ず守ってください：

⚠ 取扱説明書全体を読み、理解してください。取扱説明書は将来の参照のために保管してください。この機器に記載されているすべての内容を読み、理解してください。警告ラベルが剥がれたり、読めなくなったり、外れたりした場合は、ラベルを交換してください。

- 子供をこの機器の上または近くに近づけないでください。可動部分やその他の機能は子供にとって危険です。
- 14歳未満の使用は想定されていません。14歳から17歳の個人は、この機器を使用する際に監督者の指導が必要です。
- 運動プログラムや新しい健康・食事プランを始める前に、医師に相談してください。胸の痛みや圧迫感、息切れ、または気分が悪くなった場合は運動を中止してください。再び機器を使用する前に医師に相談してください。機器のコンピュータで計算または測定された値は参考目的のみに使用してください。コンソールに表示される心拍数はおおよその値であり、参考としてのみ利用してください。
- 使用前に毎回、この機器の部品の緩みや摩耗の兆候を確認してください。このような状態が見つかった場合は使用せずに、カスタマーサービスに連絡してください。
- 最大ユーザー体重制限は136kgです。これを超える場合は使用しないでください。
- Max Trainer™ SE 機器は家庭用のみです。商業施設や公共施設での設置や使用はしないでください（例：ジム、企業、職場、クラブ、フィットネスセンター、その他の公共または私的な組織）。
- Max Trainer SEi 機器は家庭用またはスタジオ/施設用として設計されています。スタジオ/施設環境で使用する場合、1日の使用時間を3時間未満に制限してください。また、この機器は管理および監督された場所でのみ使用することが推奨されます。この管理の度合いは、設置場所の環境や機器の利用者の経験度などに依存します。ほかの人が以前に使用した可能性があるため、傾斜、ペダル、およびハンドルバーが正しく調整され、固定されていることを確認してください。
- ゆったりとした衣服やアクセサリーを身につけないでください。この機器には可動部分があり、指や他の物を機器の可動部分に入れないでください。
- この機器をしっかりした水平で平らな表面に設置し、操作してください。
- ペダルに乗る前に安定していることを確認してください。機器に乗り降りする際は注意してください。
- この機器を屋外や湿気の多い場所、または濡れた場所で操作しないでください。
- 機器を操作する側面および背面には、少なくとも0.6mの空間的な隙間を確保してください。これは、機器へのアクセスや周囲の移動、緊急時の退避のために推奨される安全距離です。機器を使用中は、他の人をこのスペースに近づけないでください。
- 運動中に過度に無理をしないでください。取扱説明書に記載されている方法で機器を操作してください。
- 取扱説明書で推奨される定期的なメンテナンスを行ってください。
- ペダルとハンドルバーは清潔で乾燥した状態を保ってください。
- この機器での運動は協調性とバランスを必要とします。トレーニング中に速度や負荷レベルが変化する可能性があるため、注意を怠らないでください。バランスを崩して怪我をすることのないようにしてください。
- この機器は、ペダルやダイナミックハンドルバーを独立して停止させることはできません。ペダルとダイナミックハヌドルバーを停止させるには、ペースを緩めてください。ペダルとダイナミックハンドルバーが完全に停止するまで、機器から降りないでください。
- 機器の開口部に物を落としたり、物を入れたりしないでください。
- 使用前に取扱説明書を読み、理解してください。身体機能に制限がある方、身体的・感覚的・精神的能力が低下している方、または経験や知識が不足している方は、使用を控えるか、安全責任者から適切な指導を受けてください。
- この機器は、身体的・感覚的・精神的能力が低下している方、または知識が不足している方が使用することを想定していません。ただし、安全責任者による監督または指導がある場合は使用可能です。14歳未満の子供をこの機器に近づけないでください。
- 子供がこの機器で遊ばないように監督してください。
- **この資料は大切に保管してください。**



シリアル番号ラベル

シリアル番号記載箇所（例）

XXXXXXX_O

S/N: XXXXXXXXOOXXXXXXXX

修理を依頼する際、
シリアル番号が必要になります。

※ラベルはマシンによって異なる場合があります。

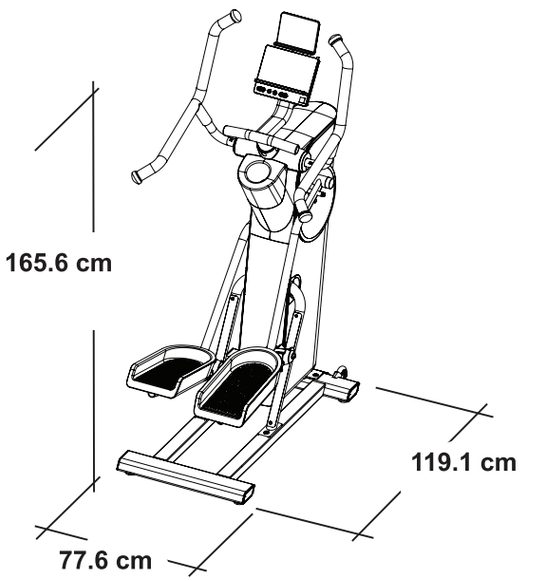
注意！

この機器に記載されているすべての内容を読み、理解し、従ってください。子供やペットを近づけないでください。本製品は14歳未満の方の使用を意図していません。追加の注意事項および安全情報については、取扱説明書をご参照ください。注意を怠ると、大怪我に繋がる可能性があります。

製品仕様ラベル

組立方法

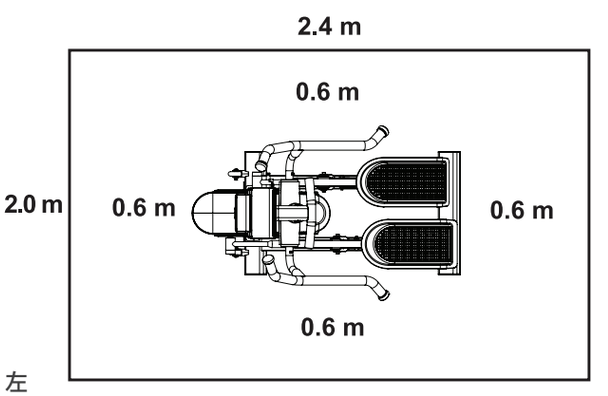
最大使用者重量：	136 kg
使用面積：	9,313.6 cm ^{2}
最大ペダル高：	52.2 cm
本体重量：	65 kg
定格 (AC アダプタ)：	入力電圧： 90-240V AC, 50-60H z, 1.5A 出力電圧：12V DC , 3A



組み立て前に

機器を設置し、使用する場所を選択してください。安全に操作するために、その場所は硬く平らな表面でなければなりません。最低限、幅200cm× 奥行き240cmの運動スペースを確保してください。また、機器への乗降を行う前面、両側面、背面には約0.6m以上の空間的な隙間を設けてください。使用する運動スペースに十分な高さがあることを確認してください。特に、ユーザーの身長と機器の最大ペダル高さを考慮してください。機器の組み立てにかかる所要時間はおよそ30〜45分です。

注意:配送時の損傷がないか機器を点検してください。損傷が見つかった場合は、カスタマーサービスに連絡してサポートを受けてください。

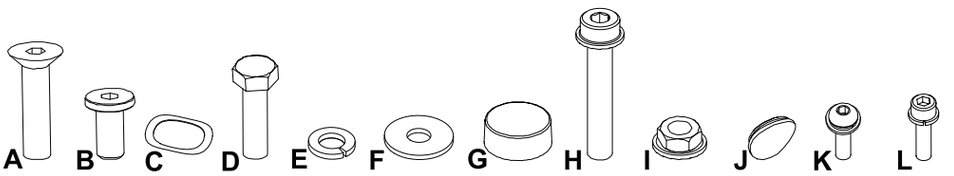


基本的な組み立てのヒント

機器を組み立てる際には、以下の基本ポイントに従ってください：

- 組み立てを始める前に、「安全上の重要な注意事項」を読み、理解してください。
- 各組み立て手順に必要な部品をすべて集めてください。
- 推奨されるレンチを使用し、ボルトやナットは右（時計回り）に回して締め付け、左（反時計回り）に回して緩めてください。ただし、特別な指示がある場合はそれに従ってください。
- 2つの部品を取り付ける際は、部品を軽く持ち上げ、ボルト穴を確認しながらボルトを穴に挿入してください。
- 組み立てには2人での作業が必要です。

ハードウェア



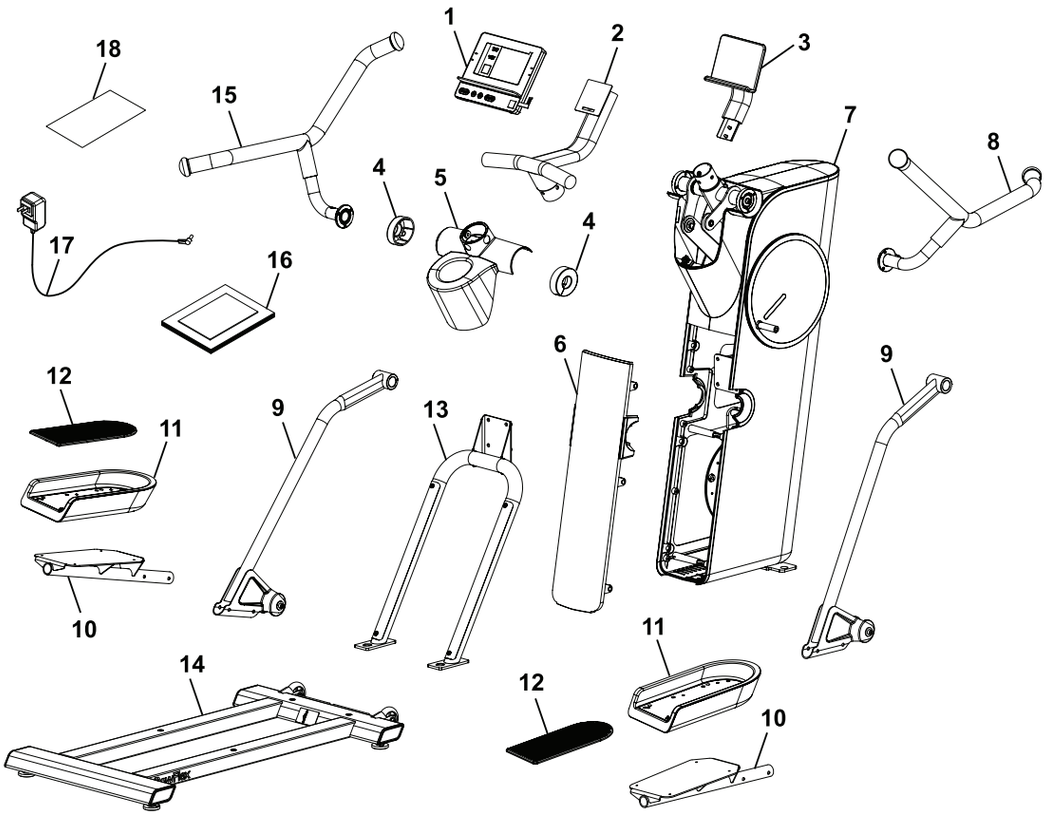
項目	数量	説明	項目	数量	説明
A	2	平頭皿ネジ、M10x1.5x40	G	2	キャップ
B	2	低頭六角穴付きネジ、M10x1.5x20	H	4	六角フランジネジ、M8x1.25x50 黒
C	2	ウェーブワッシャー	I	4	六角フランジナット、M8 黒
D	2	六角ネジ、M8x1.25x25	J	3	プラグ
E	2	ロックワッシャー 黒	K	3	ボタンネジ/ワッシャー、M6x16 黒
F	2	平ワッシャー、広幅 M8 黒	L	6	ソケットネジ/ワッシャー、M6x1.0x20 CL12.9 黒

注意: 一部の部品は、部品カードに予備として含まれています。機器を正しく組み立てた後でも、予備の部品が残る場合がありますのでご注意ください。

同梱ツール

4 mm
5 mm
6 mm

13 mm
17 mm



すべての右側（「R」）および左側（「L」）の部品には、組み立てを補助するためのラベルが貼られています。

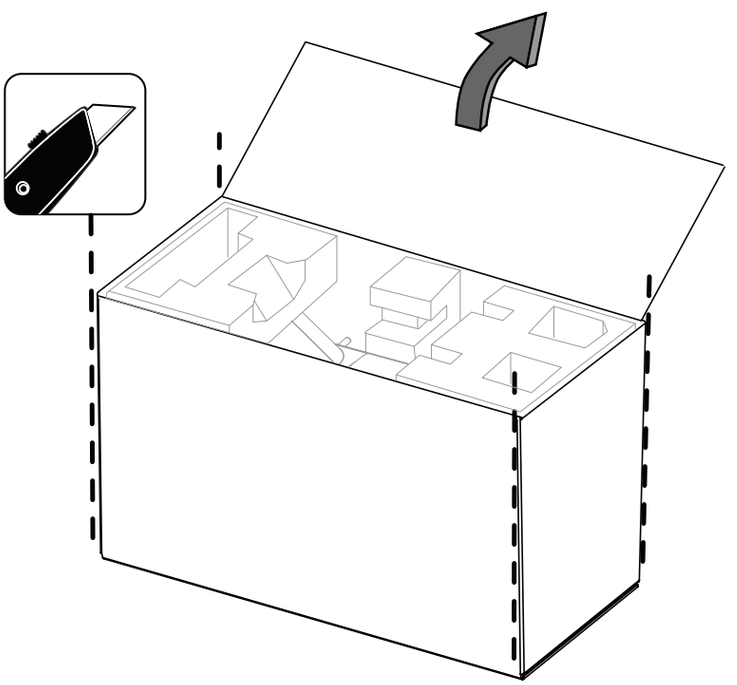
項目	数	説明
1	1	コンソール
2	1	スタティックハンドルバー
3	1	メディアラック
4	2	ハンドルカバー
5	1	トップカバー
6	1	リアカバー
7	1	メインフレーム
8	1	右ダイナミックハンドルバー
9	2	レッグフレーム

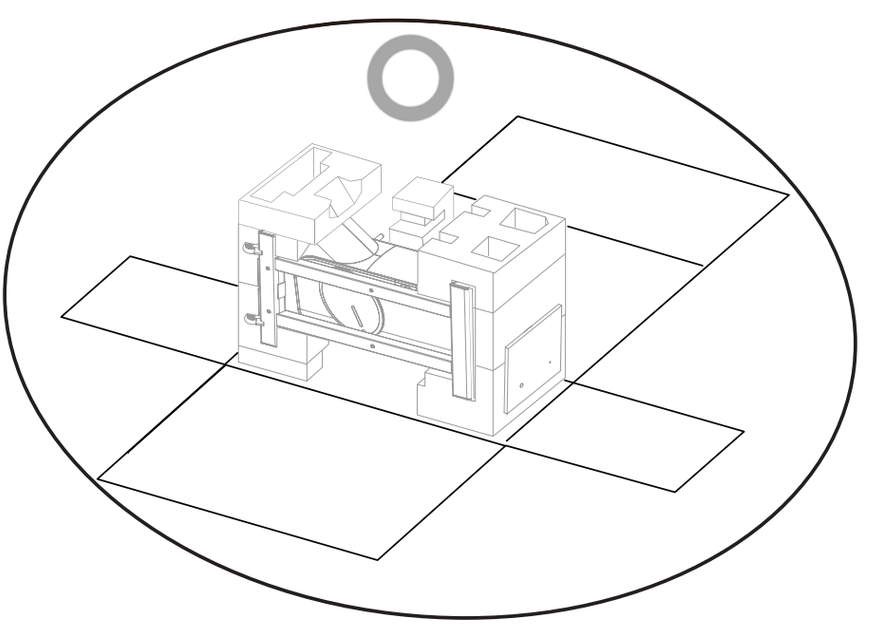
項目	数量	説明
10	2	ペダル
11	2	ペダルプラットフォーム
12	2	ペダルパッド
13	1	レール
14	1	スタビライザー
15	1	左ダイナミックハンドルバー
16	1	ドキュメントキット
17	1	ACアダプター
18	1	ハードウェア

1. 設置場所付近で開梱してください。開梱は蓋を開いてから角を切ってください。

⚠ ハサミやカッターを使用して箱を切る際は、ハサミやカッターの取り扱いには十分注意してください。また、箱には輸送用のホチキス留めが付いている場合がありますので、引っ掛けたりしない様気をつけてください。

注意: 箱は床を保護するために使用できます。箱の中身が提供されている画像と完全に一致しない場合があります。

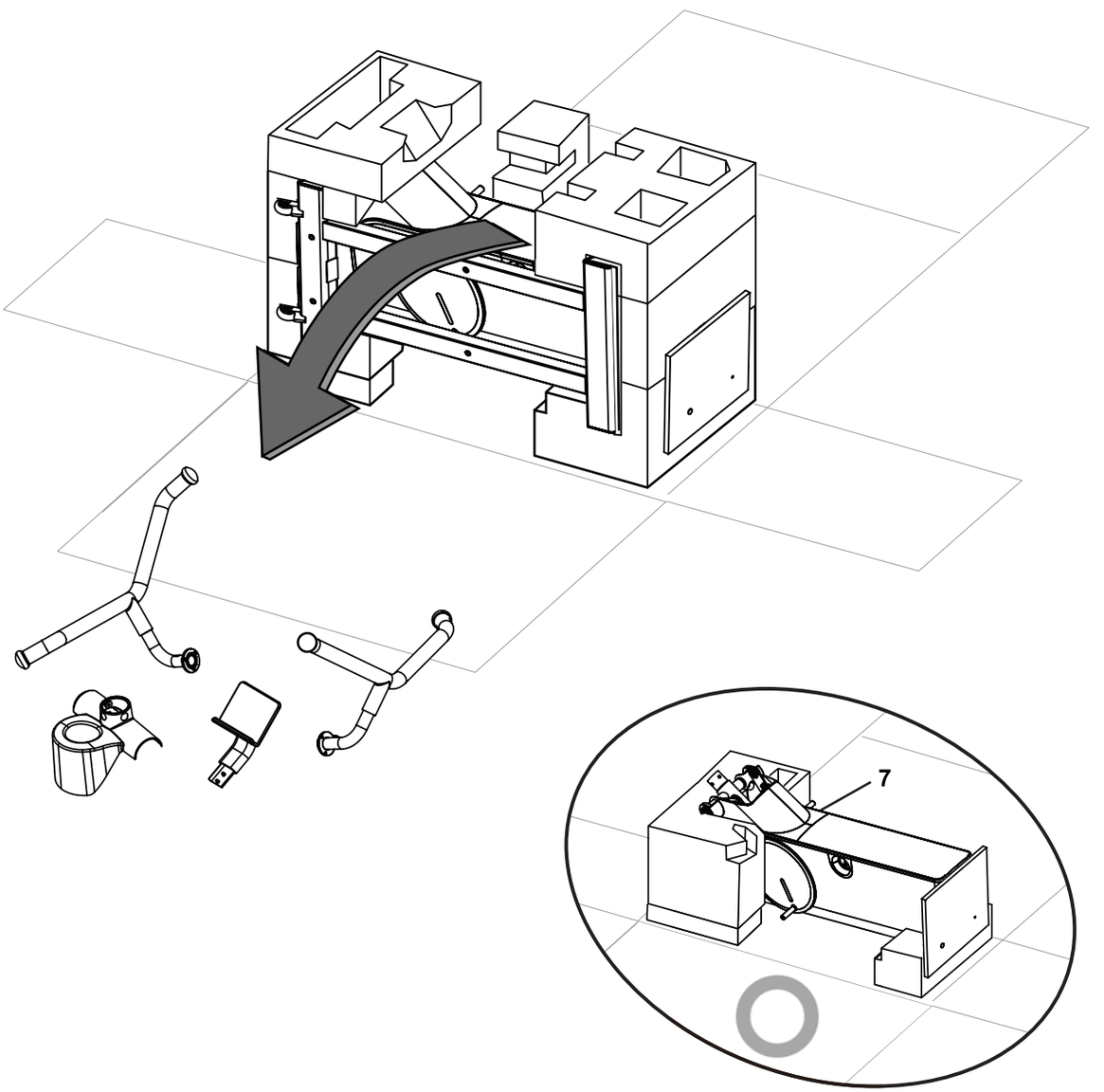




2. メインフレーム（7）の周囲からすべての部品と梱包材を取り除き、メインフレーム（7）とその下にある部品はその場に残しておいてください。

一部の部品は重かったり扱いにくかったりする場合がありますので、組み立ては、複数人で行ってください。開梱中は、手や足に部品を落とさない様お気を付けください。

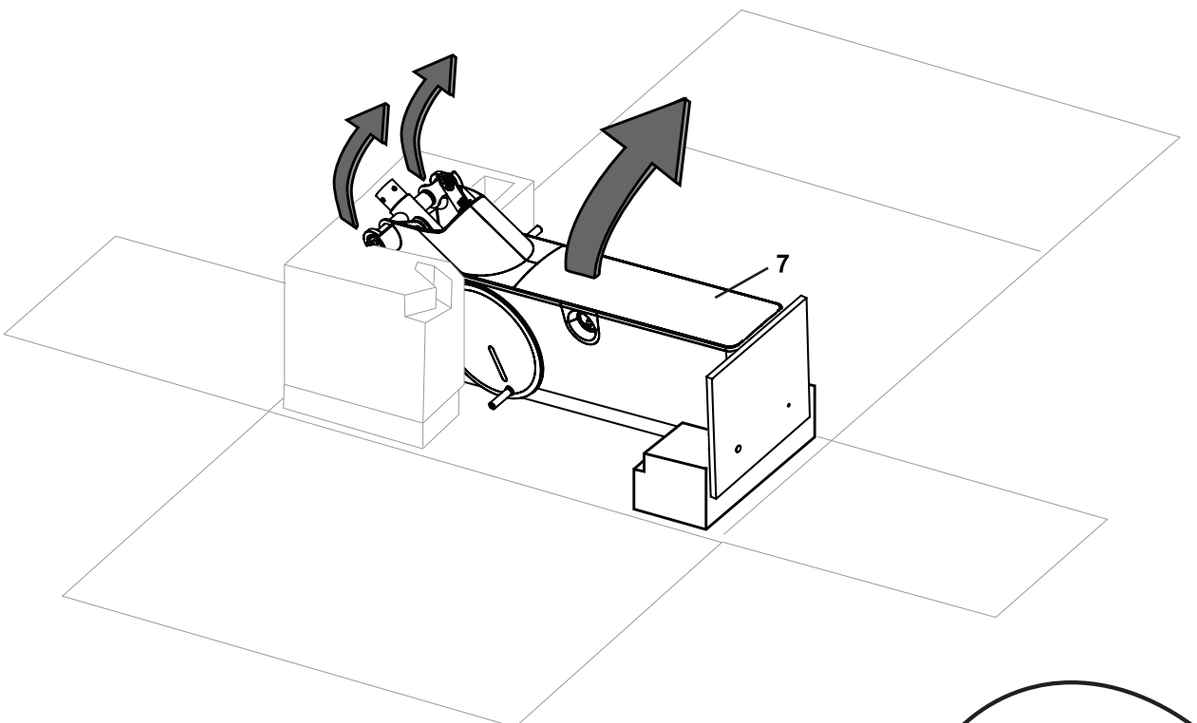
注意: 箱や梱包材は速やかに片づけて、作業エリアを確保してください。

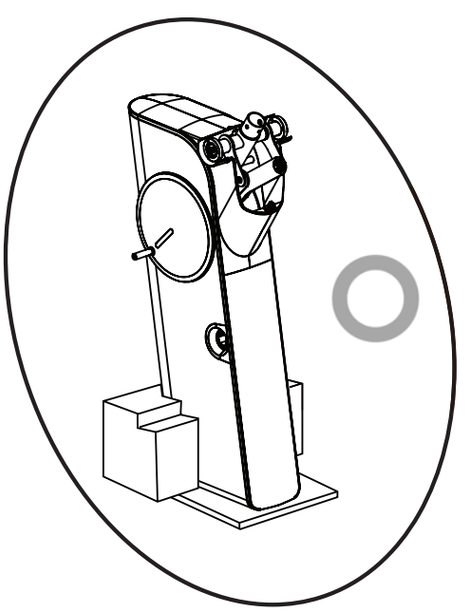


3. メインフレーム（7）を回転させて、直立させてください。

一部の部品は重かったり扱いにくかったりする場合がありますので、組み立ては、複数人で行ってください。開梱中は、手や足に部品を落とさない様お気を付けください。

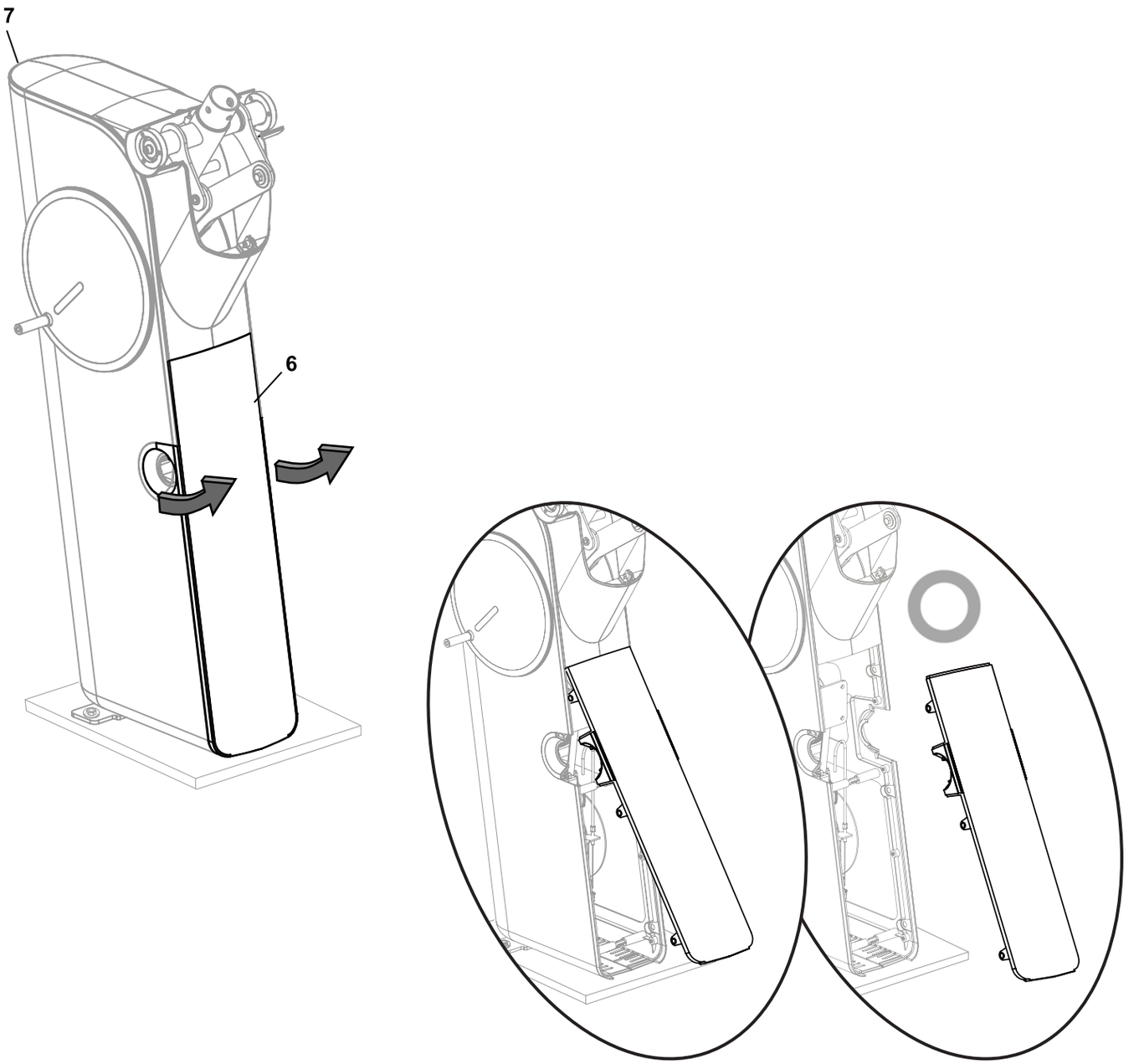
注意: メインフレームの下にある部品を、組み立てエリアの外に移動させてください。





4. リアカバー（6）をメインフレーム（7）から取り外してください。

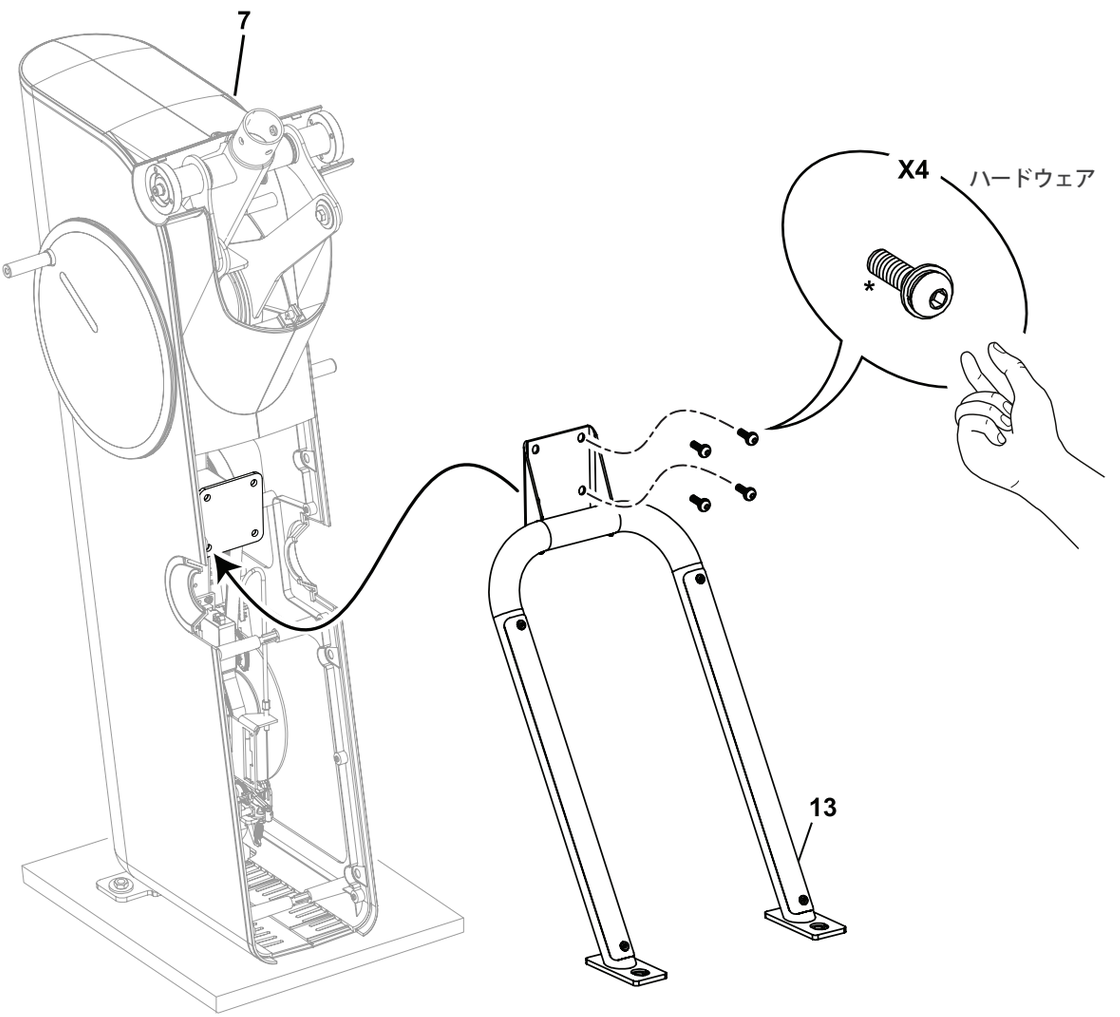
***注意:** リアカバーの側面の開口部をしっかりと握り、上方に引っ張って行く様にメインフレームからリアカバーを取り外してください。*



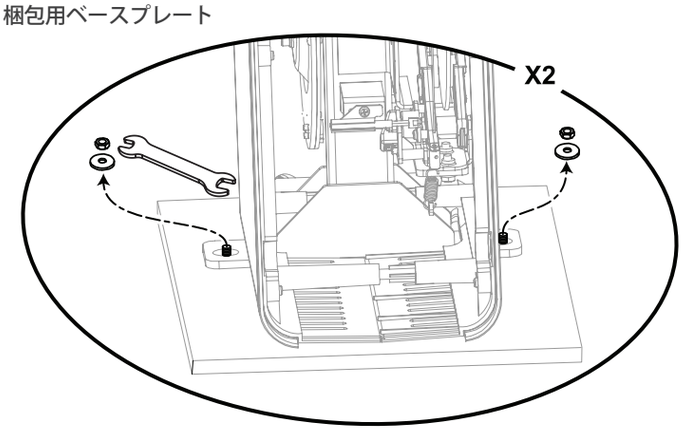
5. レール（１３）をメインフレーム（7）に取り付けてください。
その後、梱包用のベースプレートからボルトを外してください。

⚠ 一部の部品は重かったり扱いにくかったりする場合がありますので、組み立ては、複数人で行ってください。

注意: 指示があるまで、ハードウェアは仮締めするだけにしてください。ここで使われるボルト（*）はあらかじめ取り付けられています。



梱包用ベースプレート

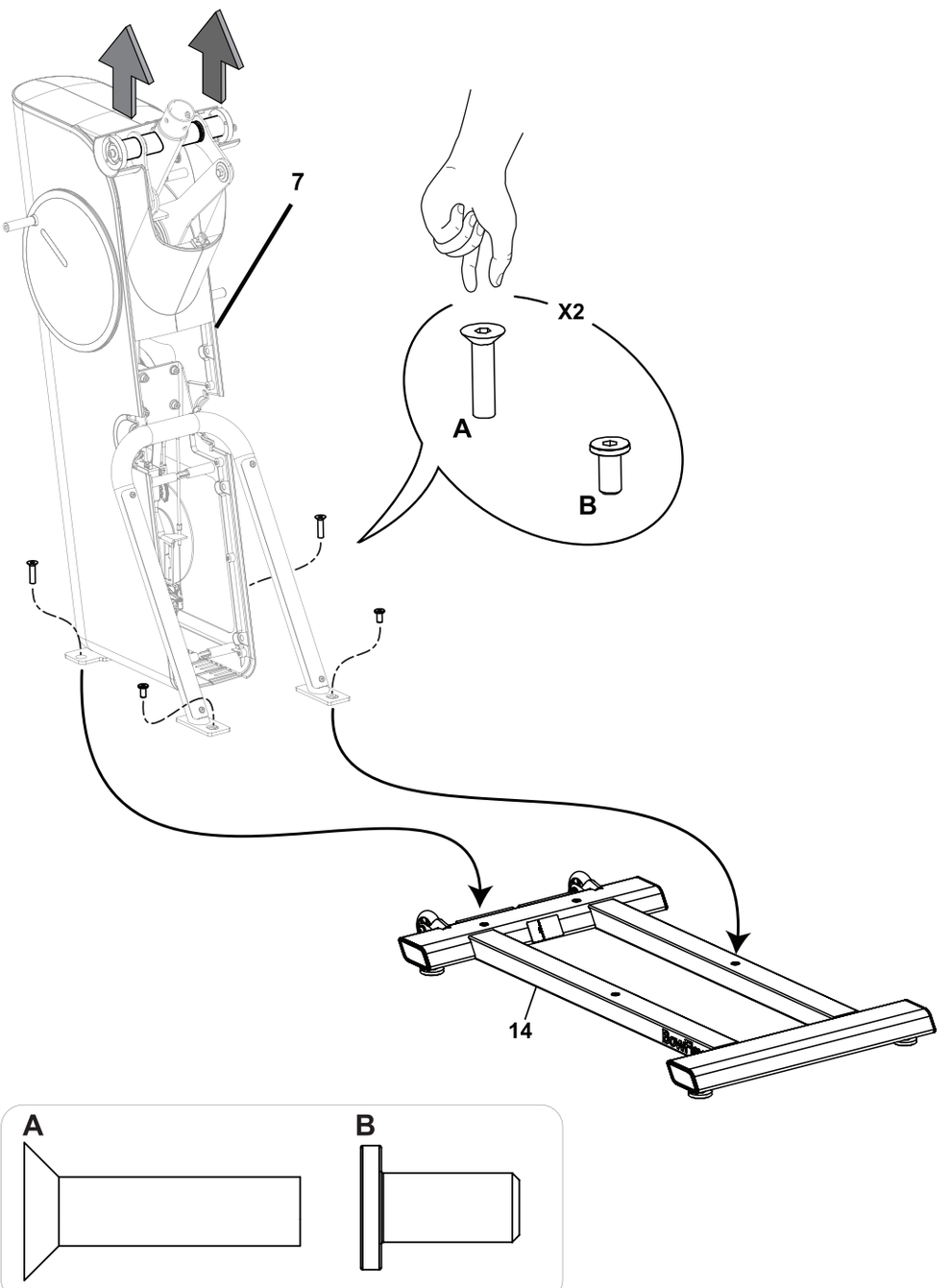


梱包用ベースプレートからボルトを外す

6. メインフレーム（7）を梱包用プレートから外し、スタビライザー（１４）に取り付けてください。

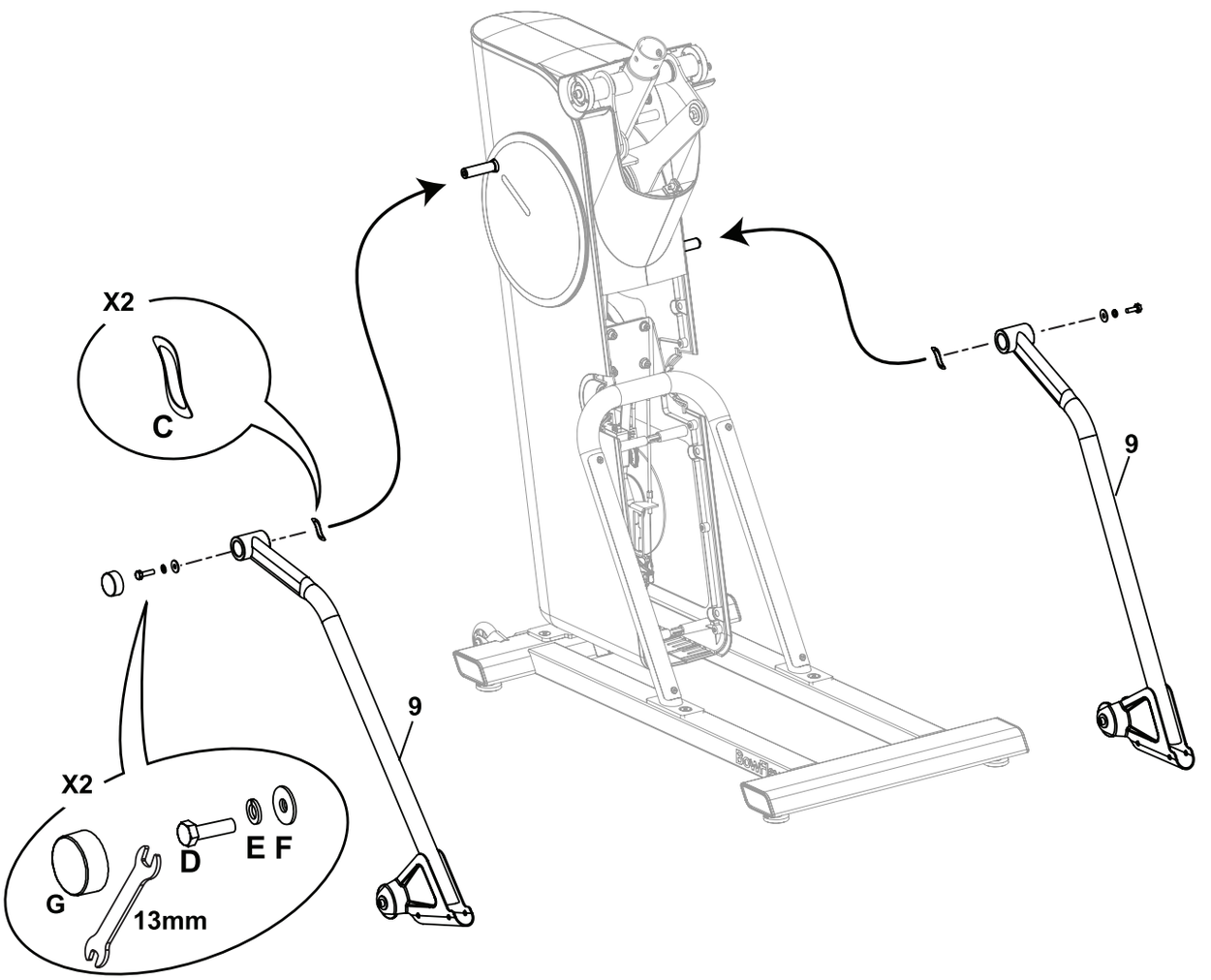
⚠ 一部の部品は重かったり扱いにくかったりする場合がありますので、組み立ては、複数人で行ってください。

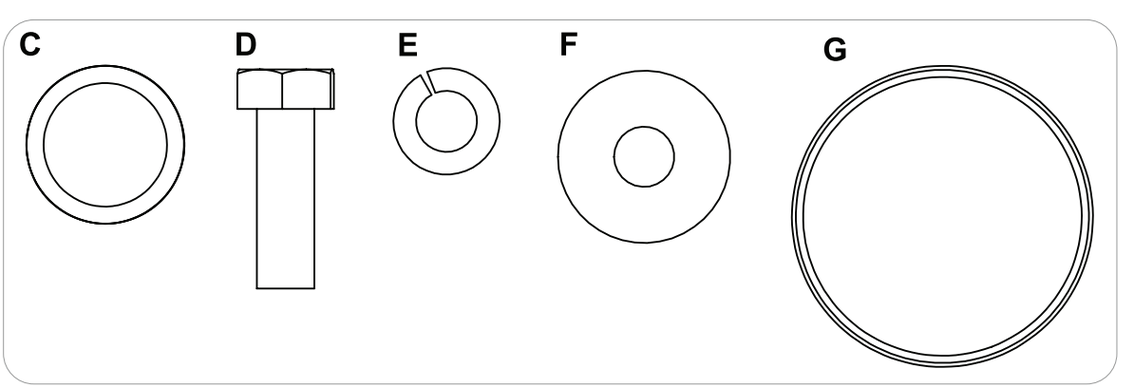
注意: すべてのハードウェアを手で仮締めした後、前の手順で使用したすべてのハードウェアを完全に締め付けてください。



7. レッグフレーム（9）をメインフレームに取り付けてください。

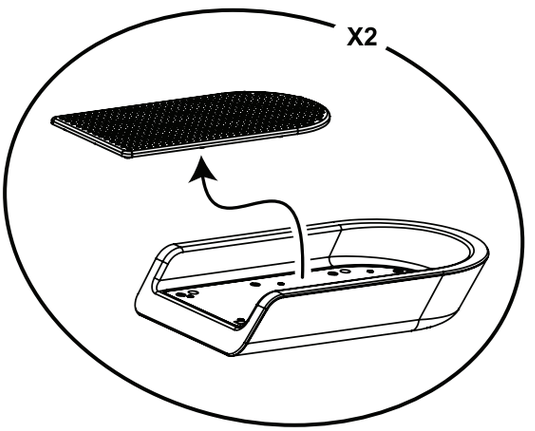
⚠ レッグフレームは連結されているので、両方が連動して動きます。

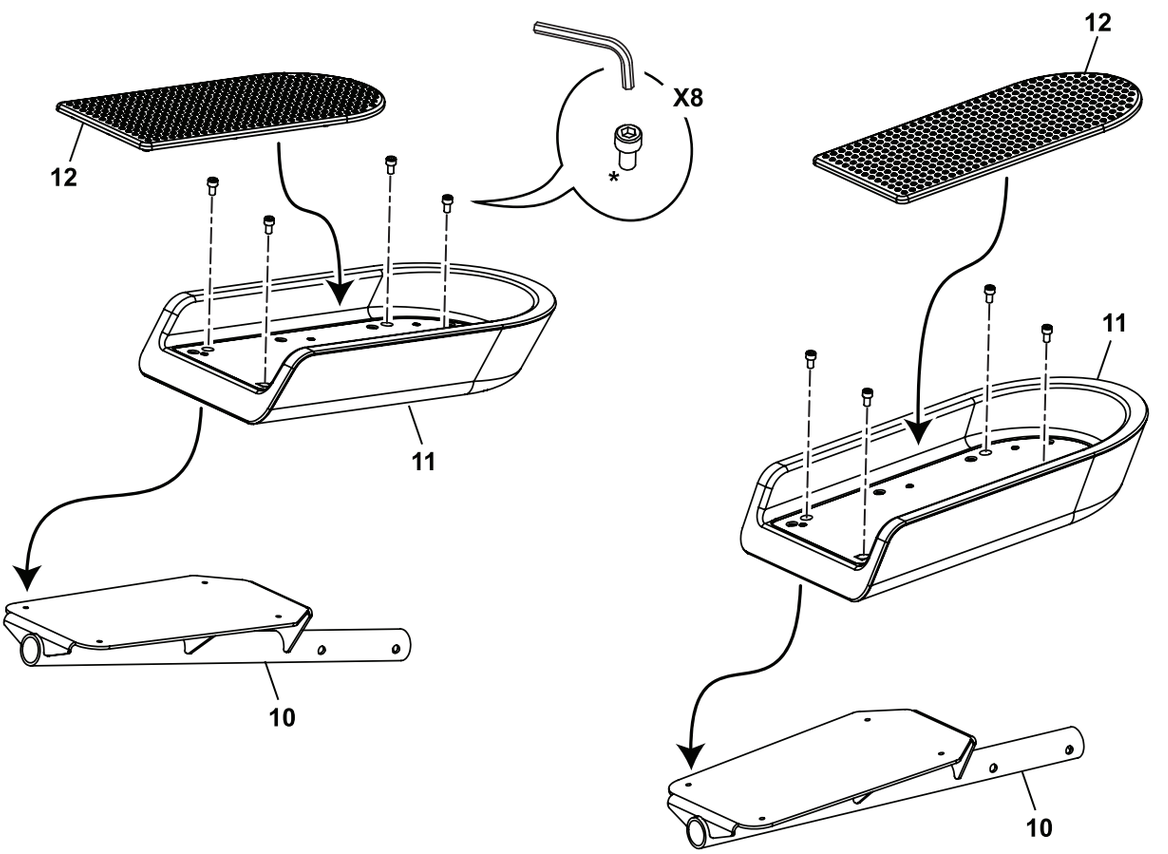




8. ペダルプラットフォーム（１１）からペダルパッド（１２）を取り外して、フットプラットフォームとフットパッドをペダル（１０）に取り付けてください。

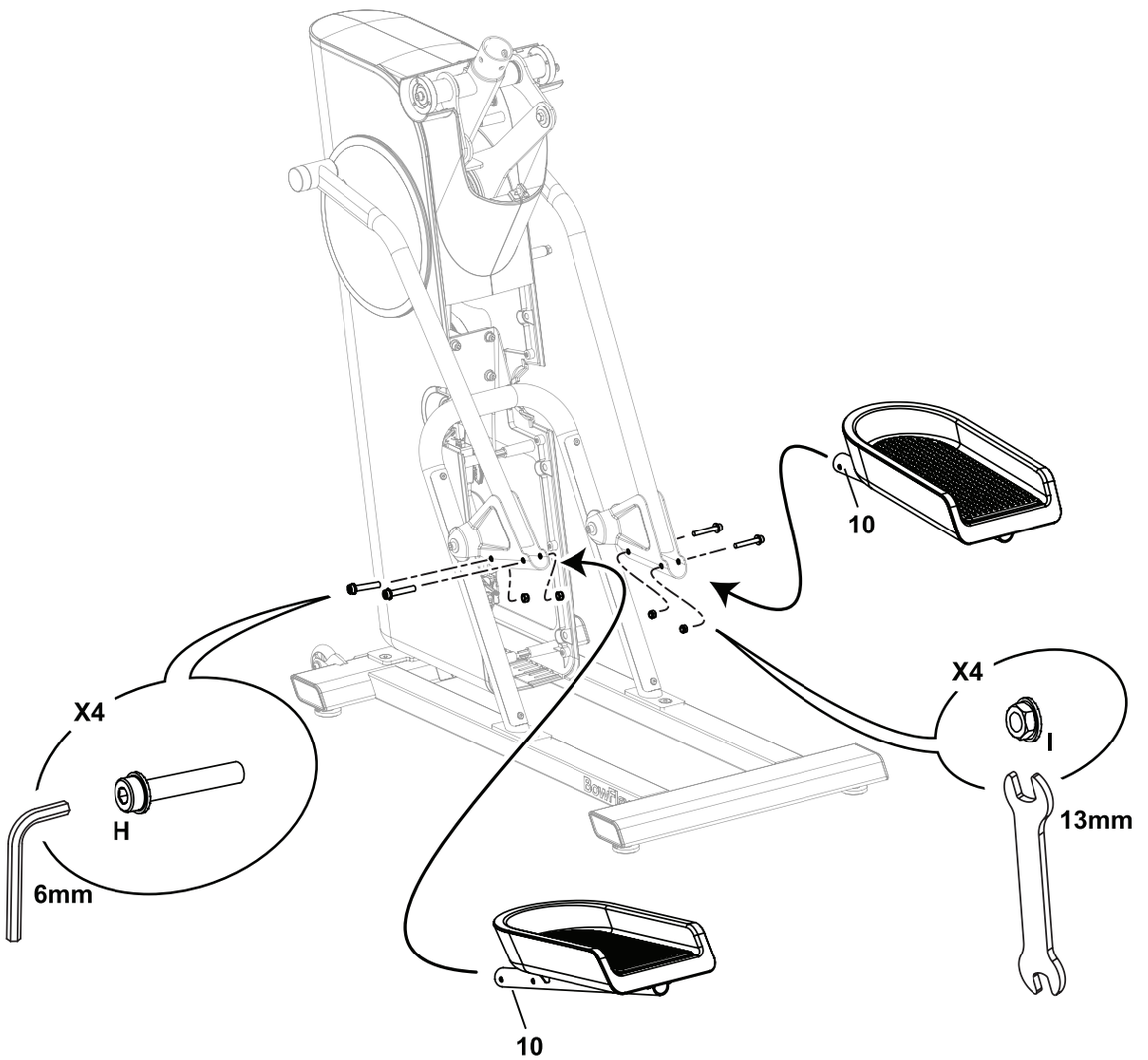
注意: ここで使われるボルト（）はあらかじめ取り付けられています。*

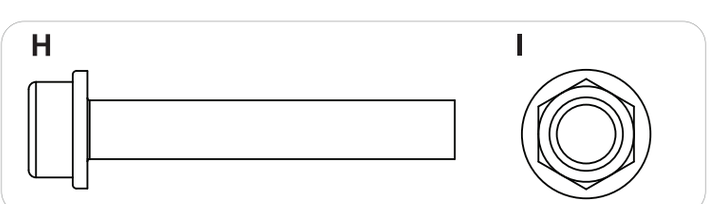




9. ペダル（１０）をメインフレームに取り付けてください。

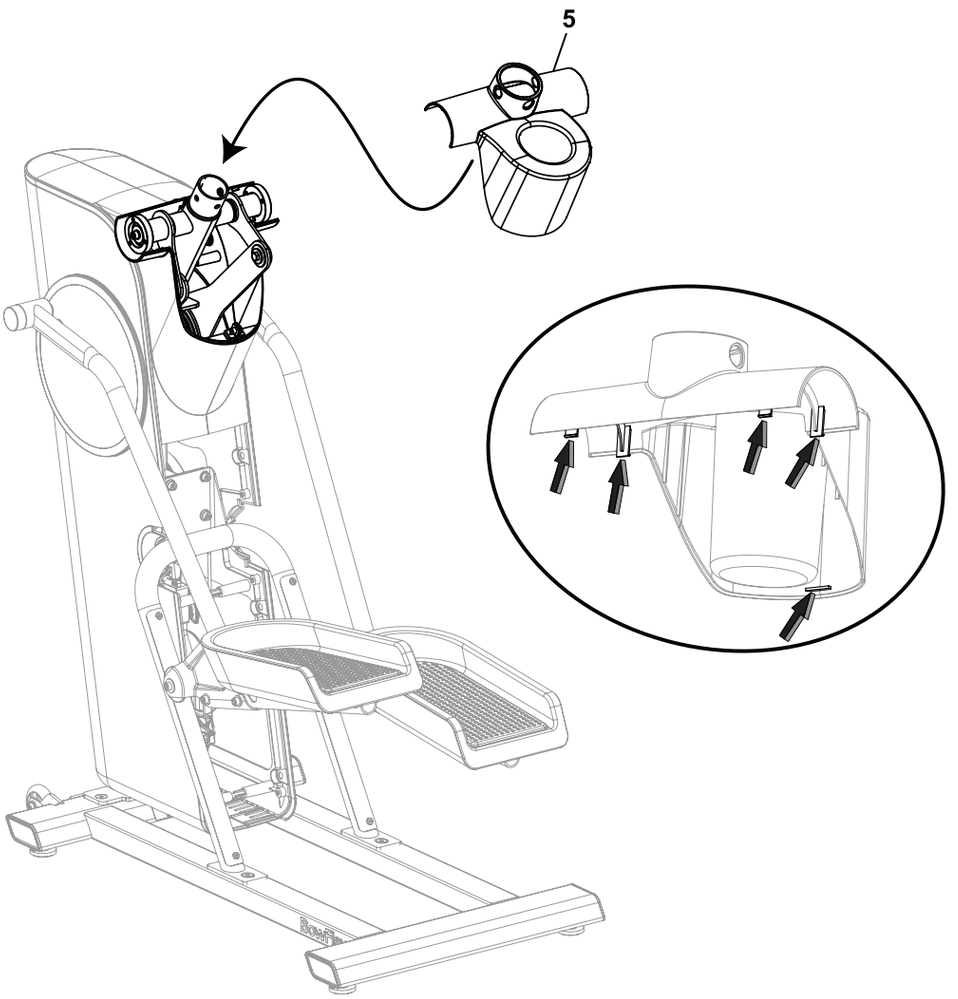
⚠ 怪我を避けるために、チューブの端をレッグフレームに挿入する際は、指や手が挟まれたり、挟み込まれたりしないよう注意してください。





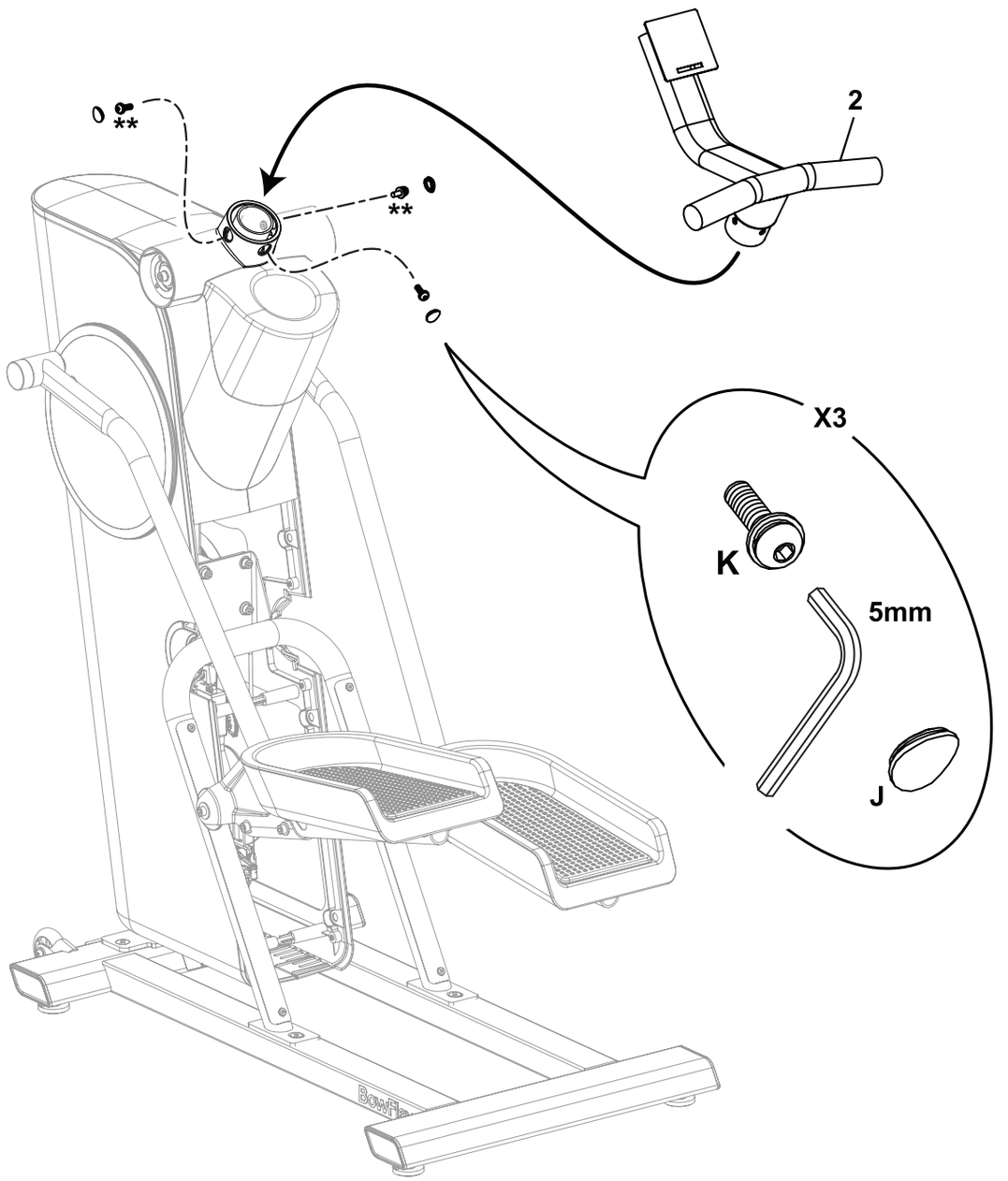
10. トップカバー（5）をメインフレームにしっかり取り付けてください。

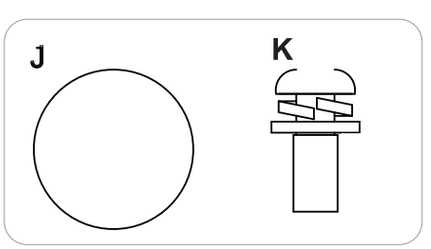
注意: トップカバーを固定するためのツメが5つあります。



11. スタティックハンドルバー（2）をメインフレームに取り付け、キャップを取り付けてください。

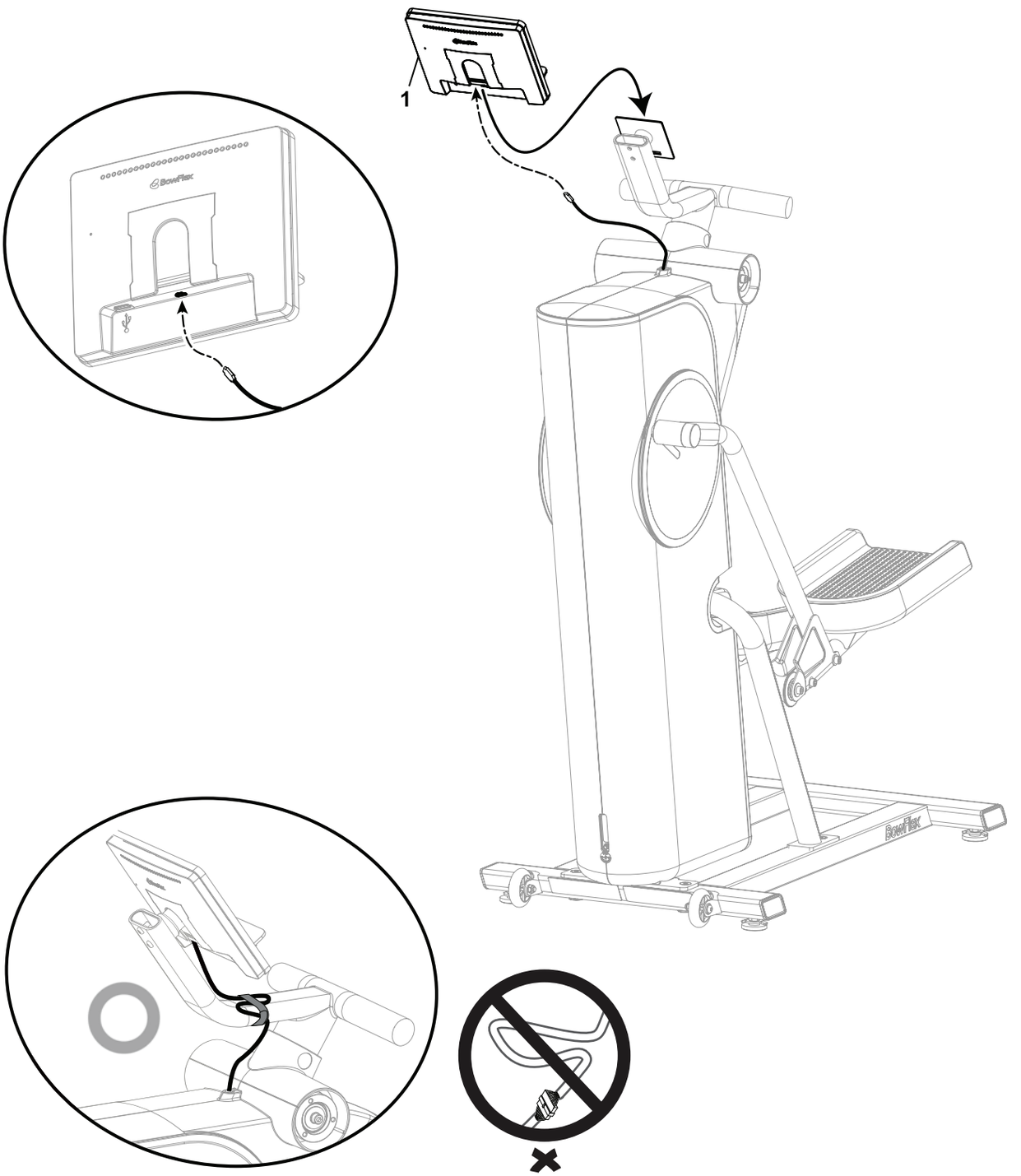
注意: まず側面のハードウェアを取り付けてください。
すべてのハードウェアの取り付けが始まるまで完全に締め付けないでください。





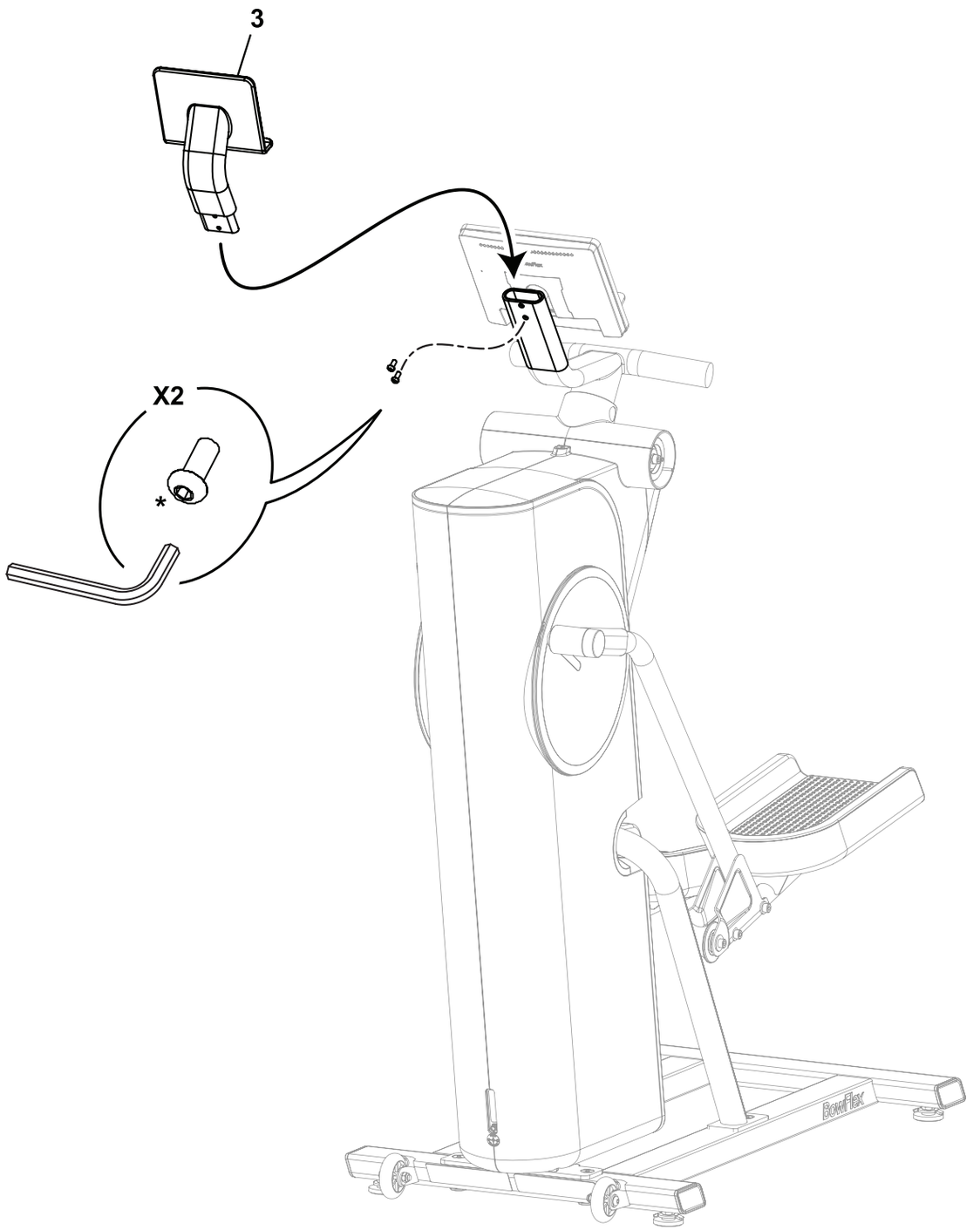
12. ケーブルをコンソール（1）に接続し、次にコンソール（1）をスタティックハンドルバー（2）に取り付けてください。

注意: コンソールケーブルを切断したり挟んだりしないようにご注意ください。コンソールを下方向にスライドさせ、タブが固定されるまで押し込みます。固定が完了したら、付属のケーブルストラップを使用してケーブルをスタティックハンドルバーにしっかりと固定してください。



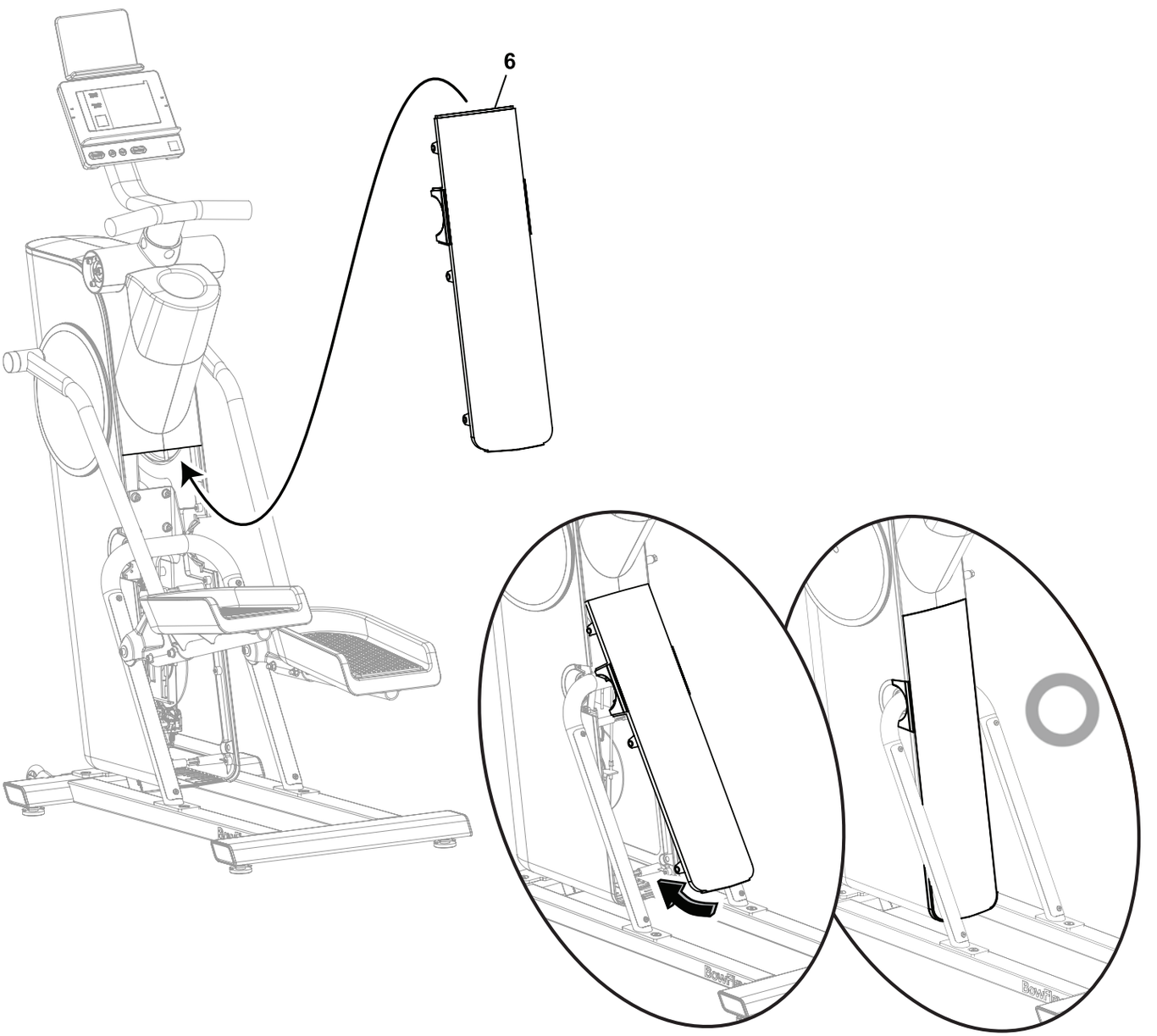
13. メディアラック（3）をメインフレームに取り付けてください。

注意: ネジを挿入する際、メディアラックをコンソール側に少し傾けて、ハードウェアが確実にメディアラックに固定されるようにしてください。ハードウェア（）はあらかじめ取り付けられています。*



14. リアカバー（6）をメインフレームに取り付けてください。

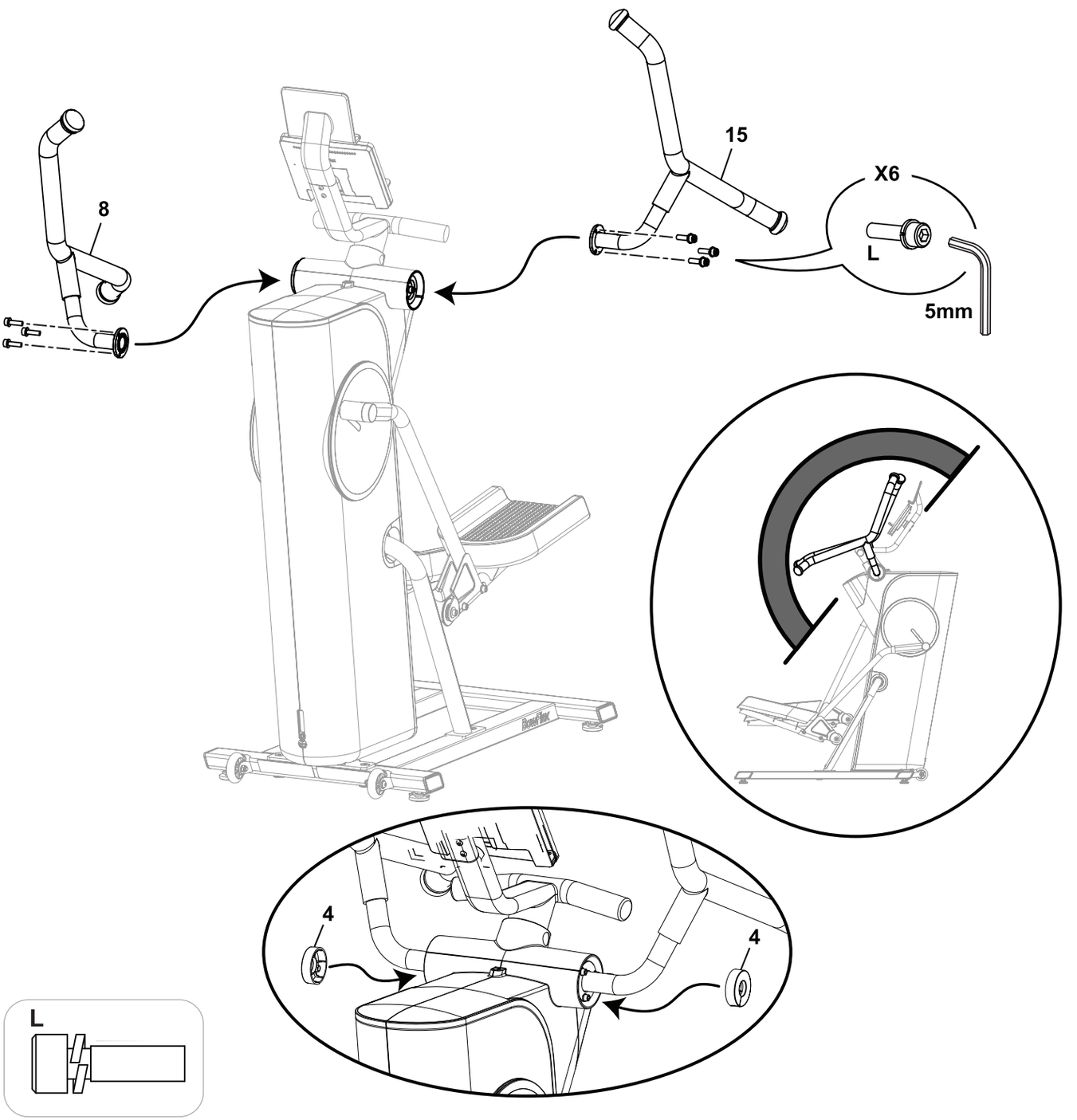
注意: リアカバーの上部をメインフレームに載せ、その後下方向に回転させて所定の位置に固定してください。
固定のためのツメが6つあります。



15. ダイナミックハンドルバー（8、１５）をメインフレームに取り付け、次にハンドルカバー（4）を取り付けてください。

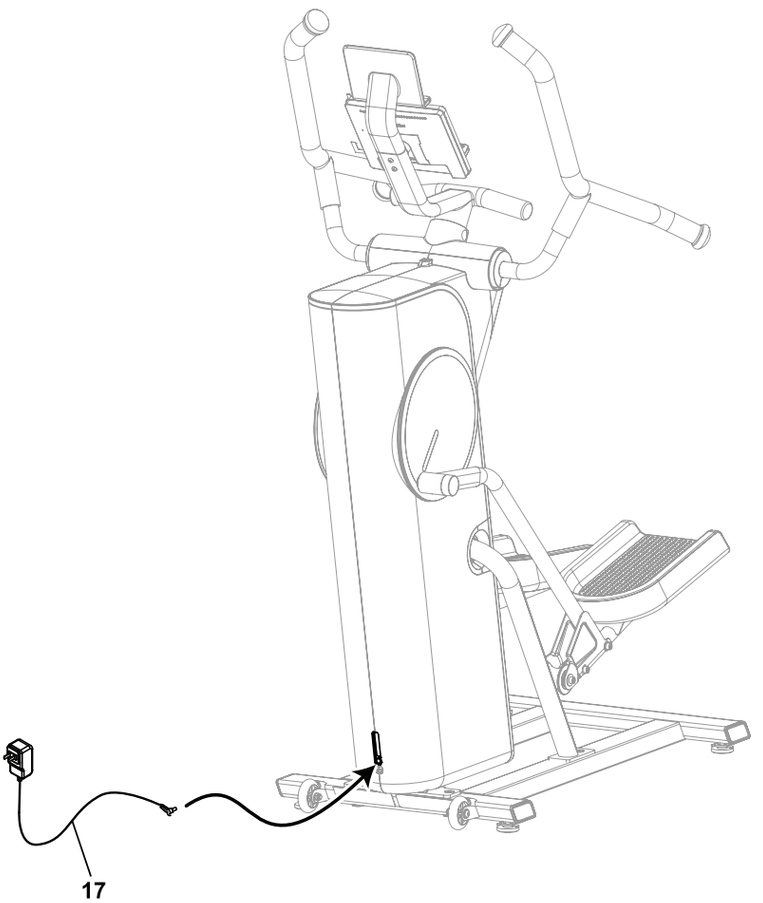
一部の部品は重かったり扱いにくかったりする場合がありますので、組み立ては、複数人で行ってください。レッグフレームは連結されているので、動かないように気を付けて作業してください。両方が連動して動きます。

注意: ダイナミックハンドルバーを左右間違えず取り付けてください。ペダルが水平な位置にある場合、ダイナミックハンドルバーも同じ位置になります。リングカバーの内側にあるツメがハードウェアにしっかり取り付けられているか確認してください。ダイナミックハンドルバーの先端が外に広がっている方が、体に近い方になる様、バーの向きにご注意ください。



16. ACアダプター（１７）をメインフレームに接続してください。

注意: ご使用の地域に適したACアダプタープラグを必ず使用してください。



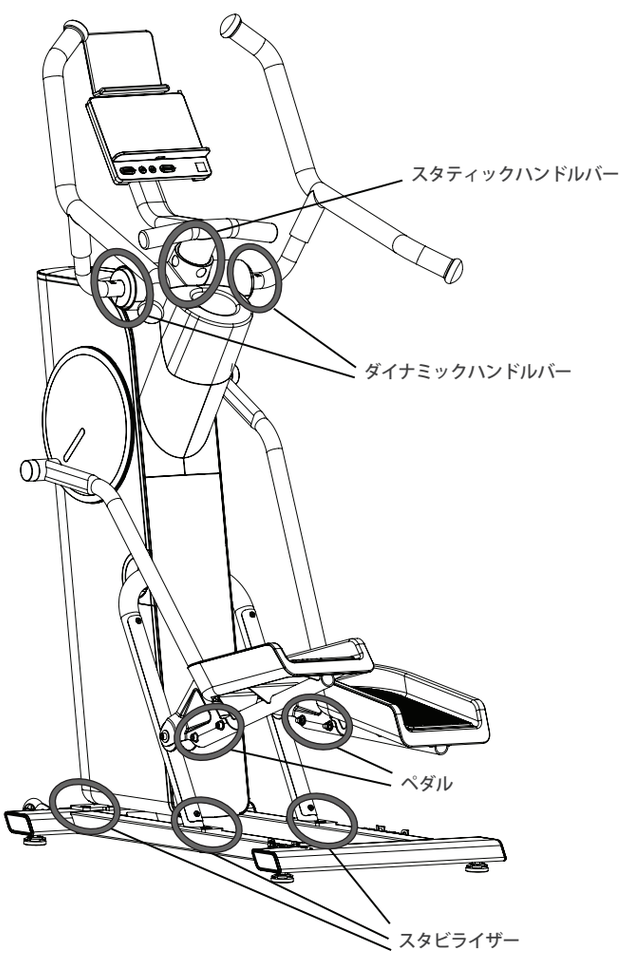
17. 最終確認

機器を点検し、すべてのハードウェアがしっかりと締められており、部品が正しく組み立てられていることを確認してください。

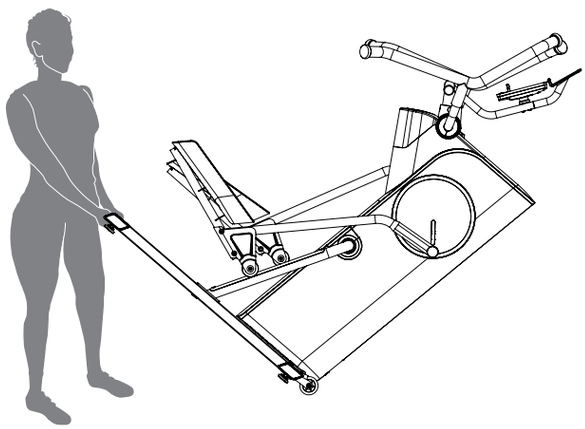
注意: コンソールの表面にある保護カバーを取り外してください。また、レールのプラスチック製の傷防止フィルムを取り外してください。本取扱説明書にシリアル番号を記録することを忘れないでください。

取扱説明書に従って機器が完全に組み立てられ、正しく動作することを確認するまで使用しないでください。

注意: 初回の数回のワークアウト後、一部のハードウェアを再度締め直す必要があります。静かでスムーズな動作を確保するために、3回のワークアウト後に指定されたハードウェアを確認し、緩んでいる場合は必ず締め直してください。
また、毎月または20時間使用するごとに、すべてのハードウェアを点検し、完全に締め直してください。



機器の移動



一人で移動させられない場合は、複数人で移動させてください。

1. スタビライザーの後部をしっかり握り、機器を慎重に前方に傾けてキャスターの上に乗せてください。

機器を傾ける前に、ハンドルバーの位置と機器の重量に注意してください。

2. 機器を設置場所に押し進めてください。

3. ゆっくりと設置させてください。

注意: 機器を移動する際は注意してください。激しい振動はコンソールの動作に影響を与える可能性があります。

機器のレベリング（水平調整）

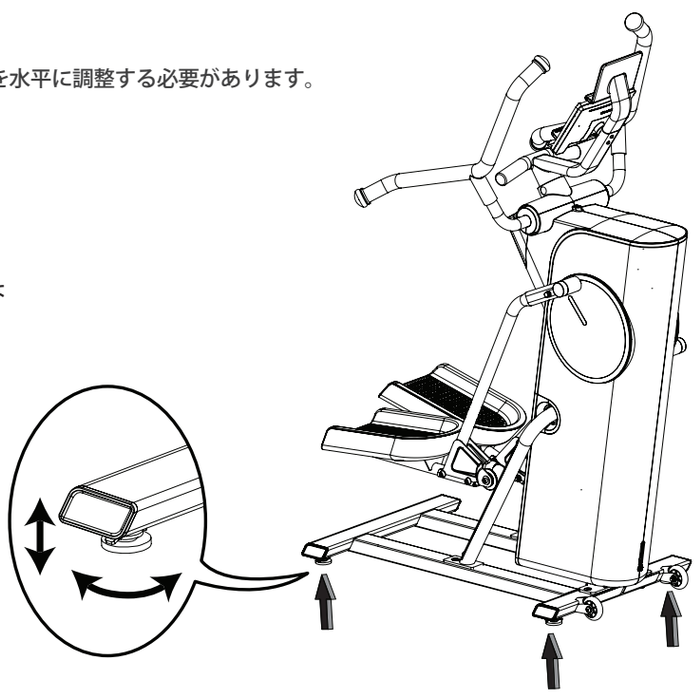
設置場所が平らでない場合や、レールが床から少し浮いている場合は、機器を水平に調整する必要があります。
調整方法：

1. 機器を設置してください。
2. ロックナットを緩め、床に均等に接触するようにレベラーを調整してください。

レベラーが機器から外れたりネジが外れるような高さまで調整しないでください。怪我や機器の損傷が発生する可能性があります。

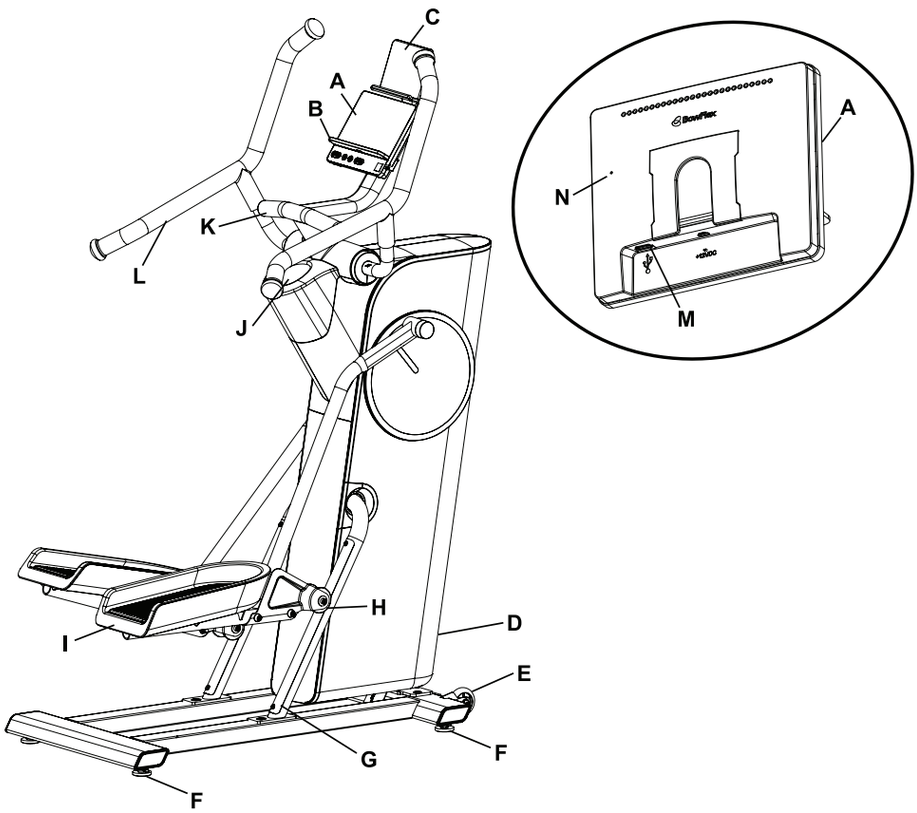
3. ロックナットを締めてください。

運動を始める前に、機器が水平で安定していることを確認してください。



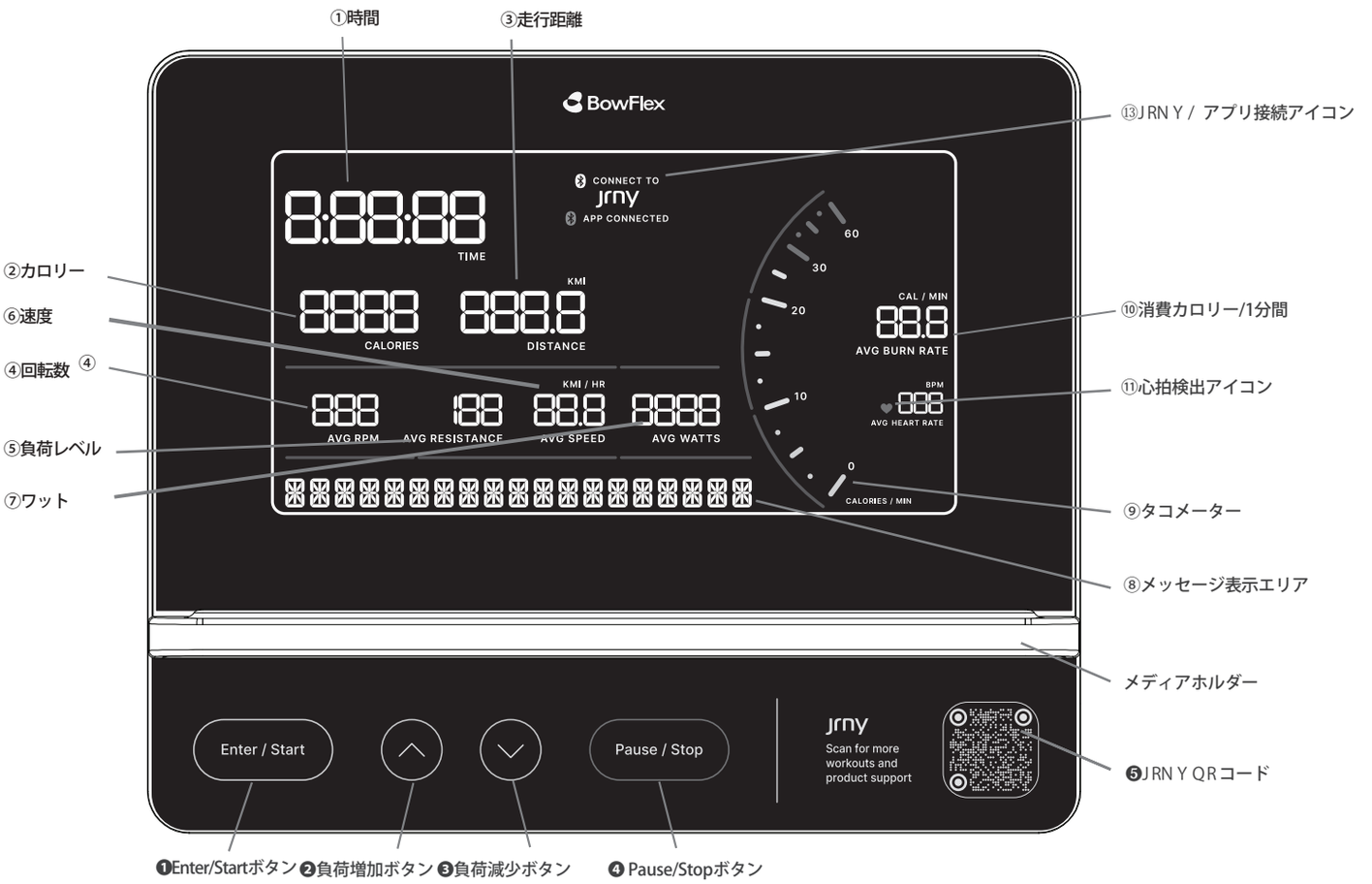
機能

A	コンソール
B	メディアホルダー
C	メディアラック
D	電源入力部
E	キャスター
F	レベラー
G	レール
H	ローラー
I	ペダル
J	ボトルホルダー
K	スタティックハンドルバー
L	ダイナミックハンドルバー
M	USB ポート
N	ステータスLED



⚠注意事項

表示される心拍数はおおよその値であり、参考値として使用してください。過度な運動は重大な怪我や死亡につながる可能性があります。気分が悪くなった場合は、直ちに運動を中止してください。



コンソールについて

コンソールは、画面にトレーニングに関する情報を表示します。

キーパッドの機能

❶ Enter / Start ボタン

トレーニングを開始/トレーニングの設定値を確定
※ボタン長押（約3秒間）コンソール設定モードに切替

❷ 負荷増加(△)ボタン

負荷レベルを上げる/利用可能な設定オプションを移動

❸ 負荷減少(▽)ボタン

負荷レベルを下げる/利用可能な設定オプションを移動

❹ Pause / Stop ボタン

トレーニングを一時停止/設定値を確定/一時停止中のトレーニングを終了

❺ JRNY QR コード

JRNYダウンロードページやBowFlex製品情報ページを表示

トレーニングデータの表示

① 時間（TIME）

表示内容: トレーニングの開始から終了までの時間を表示
動作: トレーニング中は0からカウントアップ
最大値: 9時間59分59秒

② カロリー（CALORIES）

表示内容: トレーニング中に消費した推定カロリーを表示
最大値: 9999キロカロリー（Kcal）

③ 距離（DISTANCE）

表示内容: トレーニング中の移動距離（KMまたはMI）を表示
動作: 0からカウントアップ（最大値: 999.9）

備考:
デフォルトの距離単位は「マイル（MI）」です。トレーニング開始前に距離単位を変更するには、Enter/Startボタンを3秒間押してコンソール設定モードに入ります。「System Units」の文字が表示されたら、Increase/Decreaseボタンを押して単位（KMまたは MI）を変更してください。希望する単位を選択後、Pause/Stopボタンを押して保存します。詳しくは38ページ：単位の変更をご参照ください。

④ 回転数（RPM）

表示内容: ペダルの回転速度を1分あたりの回転数（RPM）で表示

⑤ 負荷レベル（RESISTANCE）

表示内容: 現在の負荷レベルを表示
範囲: 1〜16（1単位ごとに調整可能、数字大きいほど負荷大）

⑥ 速度（SPEED）

表示内容: 現在の速度をマイルまたはキロメートルで表示
最大値: 99.9（KMまたはMI）/H

⑦ ワット（WATTS）

表示内容: 現在のRPM（回転数）と負荷レベルでの推定出力をワット（W）で表示（746ワット = 1馬力）

⑧ メッセージ表示エリア

表示内容: プログラムの通知、プロンプト、および回答を表示

⑨ タコメーター

表示内容: 現在のバーンレート（1分間あたりの消費カロリー）を表示

⑩ 1分間あたりの消費カロリー（BURN RATE）

表示内容: 1分間に消費されるカロリーのレベルを表示
この値は現在のRPM（ペダル速度）と負荷レベルの強度に基づく
どちらかの値が上がると消費割合も増加

⑪ 心拍数検出アイコン

表示内容: コンソールがBluetooth®心拍数モニターとペアリングされると表示（通常非表示）

⑫ 心拍数（HEART RATE）

表示内容: Bluetooth®心拍数モニターから取得した1分間あたりの心拍数（BPM）を表示
心拍信号を受信するとアイコンが点滅
心拍数が検出されない場合、この表示は非表示

健康に関する注意事項:
表示される心拍数はあくまで参考値であり、厳密な医療用途には使用しないでください。
運動プログラムを開始する前に医師に相談してください。
運動中に胸の痛みや圧迫感、息切れ、または気を失いそうになった場合は、運動を中止し、医師に連絡してください。再び機器を使用する前に医師に相談してください。

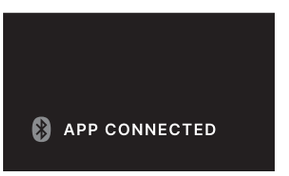
⑬

Bluetooth® ロゴ + "CONNECT TO"+JRNY™アイコン

機器がJRNY™アプリに接続されていない場合、表示画面には手動トレーニングの開始前、実行中、終了後の情報が表示されます。

Bluetooth®ロゴ + JRNY™アイコン + 「APP CONNECTED」

JRNY™アプリを使用している場合、トレーニング中に表示されます。



Bluetooth®ロゴ + 「APP CONNECTED」

JRNY™以外のアプリを使用している場合、トレーニング中に表示されます。

JRNY™アプリとの連携、よりダイナミックなトレーニングを楽しむには

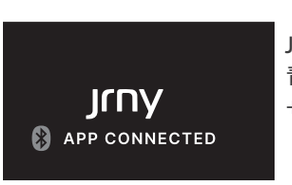
JRNY™メンバーシップをお持ちの場合、このBowFlex™機器のコンソールとデバイスを同期させることで、デバイス上でガイド付きトレーニングを利用できます。トレーニング内容は個々の進捗やニーズに適応されます。

JRNY™の利用にはメンバーシップ（会員登録）が必要です。
詳細はwww.bowflex.com/jrnyをご覧ください。
また、スマートフォンやタブレットにJRNY™アプリをダウンロードし、アプリ内でサインアップすることもできます。
JRNY™メンバーシップはすべての国で利用できるわけではありません。
※日本での導入は未定です。

セットアップは下記の手順で行ってください。
1.「BowFlex™ JRNY™」というアプリをダウンロード
アプリは App Store または Google Play™ で入手可能です。

2. デバイスのBluetooth®と位置情報設定を確認
デバイスのBluetooth®および位置情報設定が有効になっていることを確認してください。

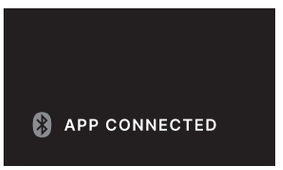
3. アプリを開いて機器と同期
機器の近くでアプリを開き、指示に従ってデバイスを機器に同期させてください。同期がうまくいかない場合は、デバイスと機器を再起動してください。再起動後、再度手順3を実行してください。



JRNY™アプリと接続されている場合、青いBluetooth®ロゴ + JRNY™アイコン + APP CONNECTEDが表示されます。

他のアプリと接続されている場合

このフィットネス機器は、Bluetooth®接続により、さまざまなサードパーティアプリと連携可能です。



JRNY以外のアプリと接続されている場合、青いBluetooth®ロゴ＋APP CONNECTEDが表示されます。

USB充電

USBデバイスを接続すると、デバイスの充電が行われます。
注意点: USBポートから供給される電力は、デバイスの動作と充電を同時に行うには十分でない場合があります。

重要: コンソールの「Power/Data Port」にUSBデバイスを接続しないでください。

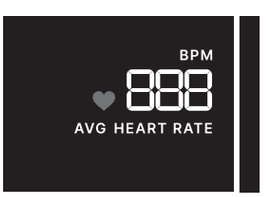
Bluetooth®心拍数ストラップ（非付属）

このフィットネス機器は、Bluetooth®心拍数ストラップからの信号を受信できます。接続時、コンソールに Bluetooth®心拍数検出アイコンが表示されます。

注意事項
ペースメーカーや他の埋め込み型電子機器を使用している場合は、Bluetooth®ストラップや心拍数モニターの使用前に医師に相談してください。

1. Bluetooth®心拍数ストラップを装着します。
2. ストラップにオン/オフボタンがある場合は、電源を入れてアクティブにします。

   コンソールが周辺のデバイスを検索し、範囲内のストラップに接続します。



接続完了時、Bluetooth®心拍数検出アイコンが表示され、トレーニングの準備が整います。

トレーニング終了後は、オン/オフボタンを押してストラップをコンソールから切断します。

心拍数に関する計算と目標ゾーン

最大心拍数は通常、子供の頃の1分間あたり220拍（BPM）から、60歳頃には約160拍まで減少します。この心拍数の減少は通常、1年ごとに約1拍ずつ減少するという直線的な傾向を示します。トレーニングによって最大心拍数の減少が影響を受けるという証拠はありません。同じ年齢であっても、個々の最大心拍数は異なる場合があります。この値を正確に求めるには、年齢に基づく計算式よりもストレステストを実施する方が望ましいです。

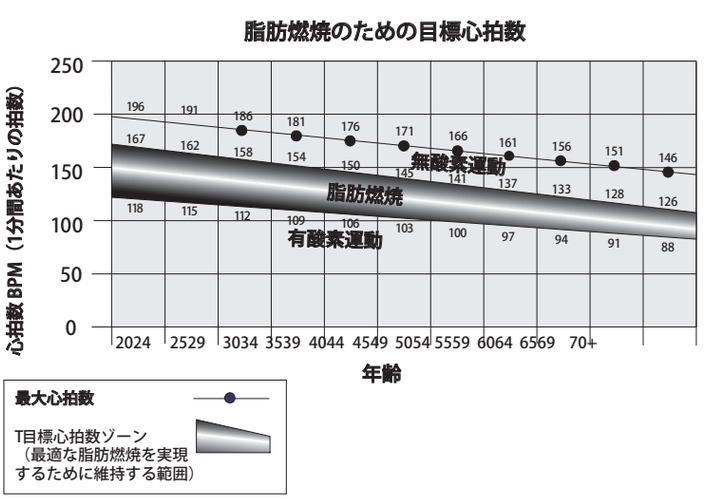
一方で、安静時心拍数は持久力トレーニングの影響を受けます。一般的な成人の安静時心拍数は約72拍ですが、高度にトレーニングを積んだランナーの場合、40拍以下になることもあります。

心拍数テーブルは、脂肪を燃焼させ、心血管系を改善するのに効果的な心拍数ゾーン（HRZ）の推定値を示しています。ただし、身体の状態は個人によって異なるため、実際の心拍数ゾーンはテーブルに記載されている値よりも数拍高い、または低い場合があります。

脂肪を燃焼するための最も効率的な方法は、運動をゆっくりとしたペースで始め、徐々に強度を上げて、心拍数を最大心拍数の60～85%に到達させることです。その後、このターゲットゾーンを20分以上維持します。目標心拍数を維持する時間が長ければ長いほど、体が燃焼する脂肪の量は増加します。

グラフは、年齢に基づいた一般的な目標心拍数を示す簡単なガイドラインです。ただし、前述のとおり、個々の条件によって最適な目標心拍数は異なる場合があります。自身の最適な心拍数ゾーンについては、医師に相談することをお勧めします。

注意:
年齢を基にした心拍数の目安はあくまで一般的なガイドラインです。運動時間や強度を増やす際には、常に自己判断を大切にしてください。



操作方法

トレーニングの頻度

運動プログラムを開始する前に、医師に相談してください。胸に痛みや圧迫感を感じたり、息切れしたり、気分が悪くなった場合は運動を中止してください。再び機器を使用する前に医師に相談してください。コンソールに表示される心拍数はおおよその値であり、参考としてのみ利用してください。

- 週に3回、1回あたり約14分間を目安にしてください。
- あらかじめ運動のスケジュールを立て、そのスケジュールに従うようにしてください。

注記:運動を始めたばかりの方（または定期的な運動プログラムに復帰する方）で、14分間の連続した運動を快適に行うことが難しい場合は、5～10分間だけ行い、徐々に運動時間を増やして、最終的に14分間できるようにしてください。

高負荷のトレーニング

運動の強度を高めるには：

- ペダルの1分あたりの回転数（RPM）を増やす。
- 足をペダルの後方に近い位置に置く。
- 負荷レベルを上げ、RPMを一定に保つ、または更に上げる。
- 上半身と下半身を異なるレベルで使用する。
- ハンドルバーの握る位置を変えて、上半身の他の部位を鍛える。

グリップ位置の選択

このフィットネス機器には複数のハンドルバーが装備されており、さまざまな種類のワークアウトを行うことができます。フィットネスルーチンが進むにつれて、手を置く位置を変えることで、異なる筋肉群をターゲットにすることができます。

この機器での運動には、協調性とバランスが必要です。運動中に速度や負荷レベルが変化する可能性があることを予測し、バランスを崩さないよう注意してください。

ダイナミックハンドルバーは、さまざまな上半身のワークアウトを可能にします。最初に使用する際は、最も快適で安定していると感じる位置に手を置いてください。
コンソールの下にあるスタティックハンドルバーは、運動中の安定性を高めたり、機器への乗降時に使用できます。

足を重点的に鍛えるワークアウトの場合は、スタティックハンドルバーを握ってください。運動中はダイナミックハンドルバーの動きに注意してください。

乗降方法

乗り降りには十分に注意してください。
ペダルとダイナミックハンドルバーは連動しており、一方が動くともう一方も動くことに注意してください。重大な怪我を避けるために、スタティックハンドルバーを握り、安定させてください。運動する前に、ペダルの下に何もないことを確認してください。

フィットネス機器に乗る手順：

1. ペダルを動かして、自分に最も近いペダルを一番低い位置に調整してください。
2. コンソールの下にあるスタティックハンドルバーを握ってください。
3. スタティックハンドルバーで体を安定させながら、最も低い位置のペダルに片足を乗せ、もう片方の足を反対側のペダルに置いてください。

注記:「ボトムアウト」とは、ペダルが動かず、ユーザーがワークアウトを開始できない状態を指します。このような場合は、スタティックハンドルバーを安全に握り、高い方の足のかかとに体重をかけてください。スタティックハンドルバーを握ったまま、少し後ろに体を傾けて、さらにかかとに体重をかけます。ペダルが動き始めたら、予定していたワークアウトを再開してください。

フィットネス機器から降りる手順：

1.降りる側のペダルを一番高い位置に動かし、機器を完全に停止させてください。

この機器には、フリーホイールは装備されていません。ペダルの速度は制御された状態で減速していきます。

2.コンソール下のスタティックハンドルバーを握り、安定させてください。

3.最も低い位置の足に体重をかけ、上側の足を機器から床へと下ろしてください。

4.機器から降り、スタティックハンドルバーから手を離してください。

はじめに

1.機器を運動エリアに設置してください。

機器を清潔で硬く、水平な表面に設置してください。その際、不要な物や自由に動くのを妨げる物がないことを確認してください。
静電気の発生を防ぎ、床を保護するために、機器の下にゴムマットを敷くことができます。
機器の移動は無理をせず、複数人で行うようにしてください。

2. ペダルの下に物がないか確認してください。

3. 電源アダプターを機器に接続し、接地されたACコンセントに差し込んでください。

4. リモート心拍数モニターを使用する場合は、心拍数モニターの指示に従ってください。

5. 機器に乗るために、ペダルを動かして自分に最も近いペダルを一番低い位置にしてください。

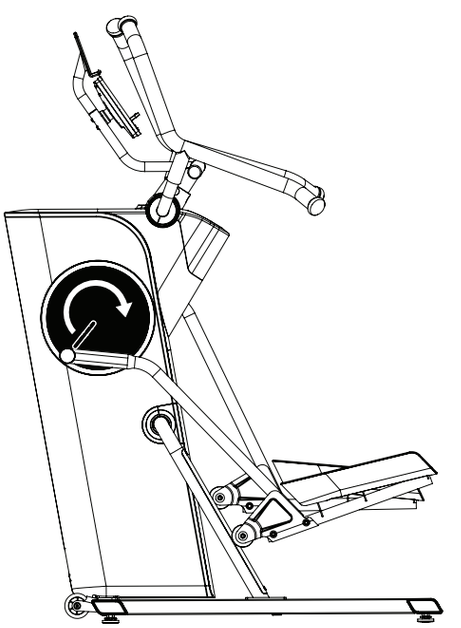
機器に乗り降りする際は、十分に注意してください。
ペダルとハンドルバーは連動しており、一方が動くともう一方も動くことに注意してください。重大な怪我を避けるために、スタティックハンドルバーをしっかり握り、安定させてください。

6.コンソールの下にあるスタティックハンドルバーを握ってください。
7.スタティックハンドルバーで体を安定させながら、最も低い位置のペダルに片足を乗せ、もう片方の足を反対側のペダルに置いてください。

注記:「ボトムアウト」とは、ペダルが動かず、ユーザーがワークアウトを開始できない状態を指します。このような場合は、スタティックハンドルバーを安全に握り、高い方の足のかかとに体重をかけてください。スタティックハンドルバーを握ったまま、少し後ろに体を傾け、さらにかかとに体重をかけます。ペダルが動き始めたら、予定していたワークアウトを再開してください。

準備が整ったら、「Enter/Start」ボタンを押してマニュアルワークアウトを開始してください。Max Trainer™ の操作方法や、負荷や回転数（RPM）の調整に対する反応に慣れる時間を設けてください。

注記: Max Trainer™ を操作する際は、機器の左側にあるクランクカバーが図のように時計回りに動いていることを確認してください。



起動モード

コンソールは、いずれかのボタンが押されるか、ペダル操作によるRPMセンサーからの信号を受信すると起動モードに入ります。

スリープモード

コンソールが約5分間何の入力も受け取らない場合、自動的にスリープモードに入ります。スリープモード中はLEDディスプレイがオフになります。

注記: コンソールにはオン/オフスイッチがありません。

負荷レベルの変更

ワークアウトプログラム中、いつでも「負荷増加 (△)」または「負荷減少 (▽)」ボタンを押して負荷レベルを変更できます。

マニュアルワークアウト

1. 負荷は現在の負　荷レベルを表示します。心拍数（接続されている場合）は現在の心拍数（BPM）を表示します。他のデータ値はすべてゼロの状態です。
2. 「Enter/Start」ボタンを押し、ペダルを漕ぎ始めてください。
3. ワークアウトが開始されます。

単位の変更（ヤード・ポンド法／メートル法）

ワークアウトの前に距離単位をキロメートルとマイルの間で切り替えるには、「Enter/Start」ボタンを3秒間押し続けてコンソール設定モードに入ると、「SYSTEM UNITS」の文字が表示されます。「負荷増加（△）」または「負荷減少（▽）」ボタンを押して、単位（ヤード・ポンド法（MI）またはメートル法（KM））を変更します。希望する距離単位が表示されたら、「Pause/Stop」ボタンを押して保存してください。

注記: 初期設定では距離単位はMI（マイル）です。

一時停止または停止

1. ワークアウトを一時停止するには、「Pause/Stop」ボタンを1回押してください。一時停止中は、コンソールに「Workout Paused」と表示されます。
2. ワークアウトを再開するには、「Enter/Start」ボタンを1回押してください。一時停止状態が5分間続くと、ワークアウトは終了します。

一時停止中、コンソールディスプレイには現在のワークアウトの値が表示されます。一時停止中のワークアウトを終了するには、「Pause/Stop」ボタンを押してください。

コンソールのミュート

コンソールをミュートにするオプションがあります。ただし、個人のデバイスからの音声出力には影響を与えません。

1. 「Enter/Start」ボタンを3秒間押し続けて、コンソール設定モードに入ります。「System Units」の文字が表示されます。
2. 「Enter/Start」ボタンを2回押します。オーディオ音量の文字が表示され、現在の音量設定が表示されます。
3. 「負荷減少（▽）」ボタンを押し続けて、音量設定を「MUTE」にします。
4. 希望する音量設定が表示されたら、「Pause/Stop」ボタンを押して保存してください。コンソールに「Settings Saved」と2秒間表示され、その後コンソール設定モードを終了します。

注記: 初期設定の音量は「中（Medium）」です。

ワークアウトサマリー

ワークアウト後、コンソールに「WORKOUT COMPLETE」と表示されます。その後、5分間ワークアウトサマリーの値が表示されます。

注記: ワークアウトデータがJRNY™アプリに保存されるためには、ワークアウトが1分以上続く必要があります。データはコンソールには保存されません。

サマリーには、以下の合計値と平均値が含まれます：

- 合計値: 時間（Time）、消費カロリー（Calories）、距離（Distance）
- 平均値: 回転数（RPM）、負荷（Resistance）、速度（Speed）、ワット（Watts）、消費カロリー/分（Burn Rate）、心拍数（Heart Rate, 該当する場合）

注記: ワークアウト中に心拍数が測定されていなかった場合、コンソールは心拍数の値を表示しません。
ワークアウトサマリーは、5分経過するか、「Pause/Stop」ボタンが押されると終了します。

コンソール設定モード – システムメニュー

コンソール設定モードでは、単位の設定（ヤード・ポンド法またはメートル法）、画面の明るさの調整、メンテナンス統計の確認、コンソールのリセットが行えます。

1. 起動モードの状態で「Enter/Start」ボタンを3秒間押し続けると、コンソール設定モード（システムメニュー）に入ります。
注記:「Pause/Stop」ボタンを押すと、設定が保存され、システムメニューを終了して起動モードの画面に戻ります。終了前にコンソールには「SETTINGS SAVED」と表示されます。

2. コンソールディスプレイに「SYSTEM UNITS」プロンプトと現在の設定が表示されます。初期設定はヤード・ポンド法（IMPERIAL）です。「（△）/（▽）」ボタンを押して、IMPERIAL（MI/LB,ヤード・ポンド法）とMETRIC（KM/KG,メートル法）の間で切り替えます。

注記:ユーザー統計にデータがある状態で単位を変更すると、統計データも新しい単位に変換されます。

3. 「Enter/Start」ボタンを押して選択を確定し、次のメニューオプションに進みます。
注記:選択を保存してシステムメニューを終了するには、「Pause/Stop」ボタンを押してください。

4. コンソールディスプレイに現在の設定とともに「SCREEN BRIGHTNESS」プロンプトが表示されます。明るさのレベルは以下の通りです:5 (100%)、4 (80%, 初期設定)、3 (65%)、2 (50%)、1 (35%)。選択したレベルの明るさがディスプレイに反映されます。「（△）/（▽）」ボタンを押して希望のレベルに調整します。

5. 「Enter/Start」ボタンを押して選択を設定し、次のメニューオプションに進みます。

6. コンソールディスプレイに「Audio Volume」プロンプトが表示されます（コンソールのビープ音の設定）。音量レベルは以下の通りです: MUTE、LOW、MEDIUM(初期設定）、High。「（△）/（▽）」ボタンを押して希望のレベルに調整します（個人デバイスの音声出力には影響しません）。

7. 「Enter/Start」ボタンを押して選択を設定し、次のメニューオプションに進みます。

8. コンソールディスプレイに「DISCONNECT BLE」プロンプトが表示されます。初期設定は「NO」です。「YES」に設定すると、すべてのBluetooth®デバイスとの接続が解除されます。「（△）/（▽）」ボタンを押して「YES/NO」を選択します。

9. 「Enter/Start」ボタンを押して選択を設定し、次のメニューオプションに進みます。

10. コンソールディスプレイに「AUTO CONNECT HR」プロンプトが表示されます。初期設定は「NO」です。「（△）/（▽）」ボタンを押して「YES/NO」を選択します。（非付属のBluetooth®心拍数モニターをご利用の際にお使いください。）

11. 「Enter/Start」ボタンを押して選択を設定し、次のメニューオプションに進みます。

12. コンソールディスプレイに「DISPLAY METRICS」プロンプトが表示されます。初期設定は「NO」です。「（△）/（▽）」ボタンを押して、JRNY™アプリ接続時にメトリクス表示（回転数、負荷レベル、速度、消費カロリー/1分間）を有効化/無効化します。

13. 「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

注記:以下14～28はサービスエンジニア用メニューの為、問題なければ「Pause/Stop」ボタンを押してシステムメニューを終了してください。

14. コンソールディスプレイに「Hardware Variant & Console Firmware Version」が表示されます。例）FW H115 R_05_115_25

15. 「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

16. コンソールディスプレイに「Serial Number」が表示されます。例）SN -PR0123450X0X

17. 「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

18. コンソールディスプレイに「Hardware Variant（機器タイプ）」が表示されます。例）HW VAR 0XXX

19. 「Enter/Start」ボタンを押して選択を設定し、次のメニューオプションに進みます。

20. コンソールディスプレイに「Run Time hours（総運動時間）」が表示されます。例）RUN TIME 20

21. 「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

22. コンソールディスプレイに「BLE Version（Bluetooth®バージョン）」が表示されます。例）BLE 4_0_2_0 R_X_X_X

23. 「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

24. コンソールディスプレイに「EX SNSR Version」が表示されます。例）SENSOR R_4_3_2_X

25. 「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

26. コンソールディスプレイに「Error Log」プロンプトが表示されます。「（▽）」ボタンを押して保存されたエラーを確認します。エラーの末尾に「Clear Errors」プロンプトが表示されます。「Pause/Stop」ボタンを押してログをクリアします。ログがクリアされると、コンソール設定モードが終了します。

27.「Enter/Start」ボタンを押して次のメニューオプションに進みます。

28. コンソールディスプレイに「Reset Console」プロンプトが表示されます。初期設定は「NO」です。「Pause/Stop」ボタンを押すとリセットを開始せずに終了します。

注記:「YES」を選択すると、システム単位、画面の明るさ、デモモードが初期設定にリセットされます。ただし、稼働時間（Run Time Hours）はリセットされません。
「（△）/（▽）」ボタンを押して、「YES/NO」を選択します。
「Enter/Start」ボタンを押すと、システム単位のプロンプト（システムメニューの最初のオプション）に戻ります。
「Pause/Stop」ボタンを押して選択を確定し、システムメニューを終了します。

29. コンソールに起動モード画面が表示されます。

修理作業を開始する前に、すべてのメンテナンス指示を読んで理解してください。場合によっては、必要な作業を行うために補助者が必要になることがあります。

機器は定期的に損傷や修理の必要がないか確認する必要があります。所有者は定期的なメンテナンスが行われることを確認する責任があります。摩耗や損傷した部品は、直ちに修理または交換してください。機器のメンテナンスおよび修理には、メーカーが提供する部品のみを使用してください。

警告ラベルが剥がれたり、読めなくなったり、外れたりした場合は、ラベルを交換、またはカスタマーサービスに連絡して交換用ラベルを入手してください。

感電や無人・無監視状態での使用リスクを減らすために、機器の清掃、メンテナンス、または修理を行う前に、必ず電源コードをコンセントと機器から抜き、5分間待機してください。電源コードは安全な場所に保管してください。

毎日

使用前に、機器に緩んだ、壊れた、損傷した、または摩耗した部品がないか確認してください。このような状態が見つかった場合は使用しないでください。摩擦や損傷が見られた場合は、すぐに修理または交換してください。

運動後は、湿らせた布を使用して機器やコンソールの汗を拭きとってください。

注記: コンソールに過剰な水分がかからないように注意してください。

毎週

ローラーの動作がスムーズであることを確認してください。機器を拭いて、ほこり、汚れ、または垢を取り除いてください。湿らせた布でレールとローラーの表面を清掃してください。

乾いた布にシリコン潤滑剤を塗布し、それを使用してレールを拭いてローラーの騒音をなくしてください。

シリコン潤滑剤は、子供の手の届かない場所に保管してください。

注記: 石油系製品は使用しないでください。

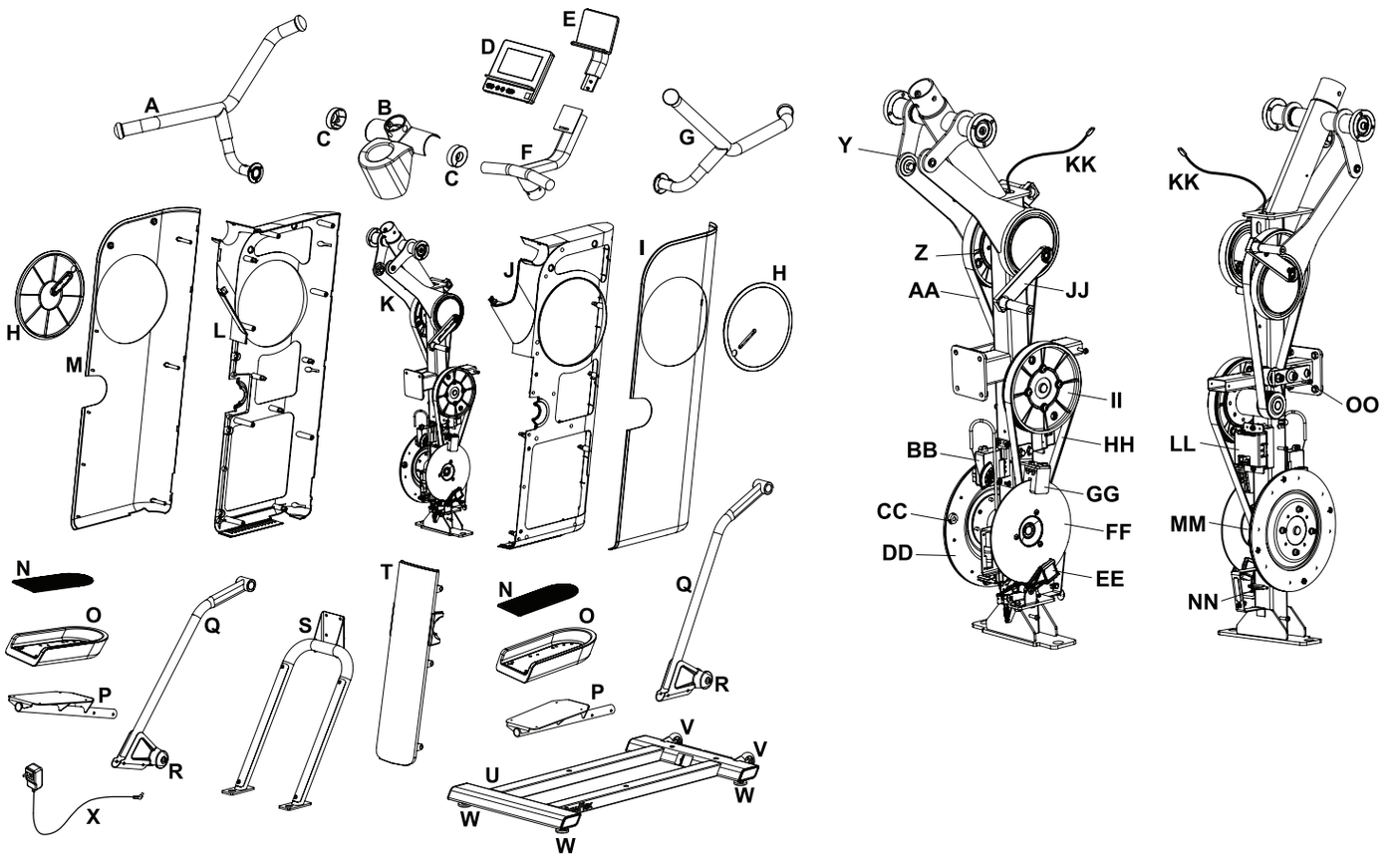
毎月

すべてのボルトとネジがしっかり締まっていることを確認してください。必要に応じて締め直してください。

機器がスタジオや施設環境で使用される場合、最大限の安全性と性能を維持するために、ペダルを毎年交換することを推奨します。

メーカーが提供する交換用ペダルのみを使用してください。他のブランドのペダルはこの製品に適合しない場合があり、使用者や周囲の人に危険をもたらす可能性があります。また、保証が無効となる場合があります。

注記: 必要に応じて、コンソールを清掃する際は、やわらかい布とマイルドな食器用洗剤のみを使用してください。石油系溶剤、自動車用クリーナー、またはアンモニアを含む製品で清掃しないでください。コンソールを直射日光の下や高温環境で清掃しないでください。また、コンソールを常に乾燥した状態に保ってください。



A	左ダイナミックハンドルバー	O	ペダルプラットフォーム	CC	スピードセンサーマグネット
B	トップカバー	P	ペダル	DD	ラジアルディスク
C	ハンドルカバー	Q	レッグフレーム	EE	ブレーキユニット
D	コンソール	R	ローラー	FF	ディスクブレーキ
E	メディアラック	S	レール	GG	マグネットキャリッジ
F	スタティックハンドルバー	T	レアカバー	HH	下ドライブベルト
G	右ダイナミックハンドルバー	U	スタビライザー	II	下ドライブプーリー
H	クランクカバー	V	キャスター	JJ	クランクアーム
I	右本体カバー	W	レベラー	KK	データケーブル
J	右保護カバー	X	ACアダプタ	LL	PCB基板カバー
K	メインフレーム	Y	アームドライブ	MM	ブレーキプーリー
L	左保護カバー	Z	上ドライブプーリー	NN	スピードセンサー
M	左本体カバー	AA	上ドライブベルト	OO	テンショナー
N	ペダルパッド	BB	サーボモーター		

症状	確認事項	解決策
ディスプレイが表示されない / 起動しない場合	スリープモードになっている	コンソールのいずれかのボタンを押すか、ペダルを動かしてください。
	AC アダプタ	ACアダプタにひび割れやその他の損傷がないか目視で確認してください。損傷がある場合は、ACアダプタを交換してください。
	電源コンセント（壁のコンセント）	正常に機能する壁のコンセントに接続されていることを確認してください。
	ユニット前面の接続部分を確認	接続がしっかり固定され、損傷がないことを確認してください。コネクターを抜き、差し込み口に損傷がないか確認してください。その後、コネクターを再び差し込み口に接続してください。
	コンソール背面のステータスLEDを確認	ステータスLEDが - 点灯（点滅しない）：コンソールが起動中です。起動には最大で3分かかる場合があります。（コンソールが動作中の場合、ステータスLEDは消灯します。） - 点滅：コンソールのソフトウェアが更新中です。
	データケーブルの接続状態および向きを確認	ケーブルがしっかりと接続され、正しい向きになっていることを確認してください。コネクターの小さなラッチが正しく位置合わせされ、音を立ててカチッと固定されるようにしてください。
	データケーブルの状態を確認	ケーブル内のすべての配線が無傷であることを確認してください。配線が目に見えて切断されている、または挟まれている場合は、ケーブルを交換してください。
	コンソールディスプレイに損傷がないか確認	コンソールディスプレイにひび割れやその他の損傷がないか目視で確認してください。損傷がある場合は、コンソールを交換してください。
		上記の手順で問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。

症状	確認事項	解決策
ボタンを押してもコンソールが反応しない場合	コンソールボタン	他のボタンを押して、コンソールに何らかの反応があるか確認してください。
	コンソールボタンからコンソールへのデータケーブルの状態を確認	ケーブル内のすべての配線が無傷であることを確認してください。配線が目に見えて折れ曲がったり切断されたりしている場合は、ケーブルを交換してください。
	データケーブルの接続/方向を確認	ケーブルが確実に接続され、正しい方向であることを確認してください。コネクタがカチッと嵌るようにしてください。
	コンソール表示の損傷を確認	コンソール表示がひび割れたり、その他損傷している視覚的な兆候がないか確認してください。損傷がある場合は、コンソールを交換してください。
	コンソールボタンを確認	コンソールボタン損傷している視覚的な兆候がないか確認してください。損傷がある場合は、コンソールを交換してください。
		上記の手順で問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。
速度/RPMの読み取りがない場合	データケーブルの状態を確認	ケーブル内のすべての配線が切断されておらず、圧迫されていないことを確認してください。切断や圧迫が見られる場合は、ケーブルを交換してください。
	データケーブルの接続/方向を確認	ケーブルが確実に接続され、正しい方向であることを確認してください。コネクタがカチッと嵌るようにしてください。

症状	確認事項	解決策
装置は動作するが Bluetooth® 心拍数（HR）が表示されない場合	心拍数ストラップ（別売り）	ストラップが肌に直接接触しており、接触面が湿っていることを確認してください。
	心拍数デバイスの電池	心拍数デバイスに交換可能な電池がある場合は、交換してください。
	干渉の確認	装置を干渉の原因となるもの（テレビ、電子レンジなど）から遠ざけてください。
	心拍数デバイスの交換	干渉を排除しても心拍数が機能しない場合は、デバイスを交換してください。
		上記の手順で問題が解決しない場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。
使用中にコンソールがシャットオフ（スリープモードに移行）する場合	電源コンセントの確認	装置が正常に動作するコンセントに接続されていることを確認してください。
	装置前部の接続を確認	接続が確実で損傷していないことを確認してください。アダプターや装置側の接続部分が損傷している場合は交換してください。
	データケーブルの状態を確認	データケーブルが損傷していないか確認してください。
	データケーブルの接続/方向を確認	ケーブルが確実に接続され、正しい方向であることを確認してください。コネクタがカチッと嵌るようにしてください。
	装置をリセット	電源コンセントから装置を抜き、約5分後に再びコンセントに接続してください。

症状	確認事項	解決策
ペダルが動かない場合	ペダルの位置	ペダルが「底付き」している可能性があります。スタティックハンドルバーを安全に握り、高い方の足のかかとに体重をかけてください。スタティックハンドルバーを握ったまま、やや後ろに傾き、かかとにさらに体重をかけてください。ペダルが動き始めたら、通常のトレーニングを再開してください。
装置が揺れる/水平に設置されていない場合	レベラー調整を確認	レベラーを調整して装置を水平にしてください。
	装置の設置場所を確認	レベラーの調整では、極端に不均一な表面を補正できない場合があります。装置を水平な場所に移動してください。
フットペダルが緩んでいる/装置の操作が難しい場合	ハードウェア	ペダルアームおよびハンドルバーすべてのハードウェアがしっかりと固定されていることを確認してください。
操作中にカバー外部から擦れる音がする場合	ハンドルカバー	ダイナミックハンドルバーの根元のカバーを少し緩めてください。
操作中にカバー内部から金属的な擦れる音がする場合	ブレーキブラケット	ブレーキブラケットの調整が必要ですので、カスタマーサービスにご連絡ください。
操作中にペダルが一瞬解放されるように感じる場合（負荷抜け）	ベルトスリップ	調整が必要ですので、カスタマーサービスにご連絡ください。
コンソールが機能紹介のビデオを継続的に表示する場合	コンソールがデモモードになっている	コンソールのQRコード横にある隠しボタンを3秒間押し続けてください（隠しボタンはQRコード左側のテキスト中央にあります）。設定は次回スリープモードに入った際に反映されます。
コンソールに「Base Connect Error」と表示される場合	データケーブル	データケーブルがコンソールにしっかりと接続されていることを確認してください。
コンソールにアップデートのプロンプトが表示される場合	コンソール	コンソールのアップデートを実行してください。アップデート中に画面が暗くなる場合がありますが、電源を切ったり装置を放置しないでください。アップデートが完了し、「起動モード」画面が表示された後で、装置の電源を切ることができます。

愛情点検

⚠注意

しばらく使用していなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、本体が正常に動作することを確認してから使用する。 事故やけがのおそれがあります。

愛情点検
長年ご使用の場合は点検をぜひ!

このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- ACアダプターが異常に熱い。
- ACアダプターを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、ACアダプターをコンセントから抜いたうえで、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

お願い

- 本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合せください。

保証とアフターサービス

修理・お取扱い・お手入れなどのご相談は、まずご購入先にご連絡ください

● 保証書

保証書は本書に掲載されています。「お買い上げ日」欄の記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間　保証書に記載

● 補修用性能部品の保有期間

当社は本機の補修用性能部品を製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

P44 ～ P47 に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

● 保証期間中に修理を依頼される場合

ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。
（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

● 保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。
修理により、製品機能が維持できる場合には、ご要望に従い有料にて修理いたします。

● その他ご不明な点がある場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。修理料金は、ご購入先、または当社のお客様相談窓口までお問い合わせください。

技術料　診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

FUJIIRYōKI

マックストレーナー　保証書

名　称	Max Trainer SEi	シリアル番号 フレームに記載（7ページに記載）	
保証期間	お買い上げの日から１年間		
保証対象	本　体（但し、消耗品は除く）		

ご購入者	フリガナ		お買い上げ日	年　月　日
	ご芳名	様	ご購入先	
	ご住所	〒 電話　（　）		電話　（　）

※ 製品をご購入の際は、保証書にお買い上げ日及びご購入先が記入されているかご確認ください。記載がない場合は、ご購入先へお申し出いただくか、納品書、レシートなどお買い上げ日及びご購入先が分かる書類を添付して大切に保管してください。

【無料修理規程（一部抜粋）】

保証の範囲や消耗品について、詳しくはフジ医療器ホームページ内「メーカー保証規程」、もしくはお客様相談窓口にてご確認ください。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   - ㋑ 無料修理をご依頼になる場合には、ご購入先にお申しつけください。
   - ㋺ ご購入先に無料修理をご依頼になれない場合には、取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
   - ㋩ この商品は出張修理をさせていただきますので、修理に際して本書をご呈示ください。
     ※離島又は離島に準ずる遠隔地の出張修理／交換作業に伴う費用が発生する場合がございます。
2. ご転居の場合、修理のご依頼先等は、ご購入先または取扱説明書に記載しておりますお客様相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入先に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書に記載しております お客様相談窓口にご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合などには有償修理になります。※故障及び損傷の状況によっては修理できない場合もございます。
   - ㋑ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   - ㋺ 購入後の取扱いが適正でない為に生じた故障及び損傷
   - ㋩ 火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異、公害や異常電圧による故障及び損傷
   - ㋥ 一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
   - ㋭ 本書の呈示がない場合
   - ㋬ 本書にお買い上げ年月日、ご購入者名、ご購入先の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

年　月　日	修理内容及び使用部品	担当者

※ お客様にご記入いただいた保証書の内容は保証期間内のサービス活動及びその後の点検活動のため記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※ 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について、詳しくは取扱説明書をご覧ください。

美と健康の総合メーカー
株式会社フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

お客様相談・サイバーセキュリティ問合せ窓口のご案内

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談は、まずご購入先へご連絡ください。

フリーダイヤル 0120-703-020 受付：月曜～金曜　午前９時～午後５時30分
※土日祝日、年末年始、夏季休業日を除く。

FAX・Web での受付けも行っております。

FAX番号 06-4793-0818

Web フジ医療器ホームページのお問い合わせフォームにて受付けております。
フジ医療器ホームページ　www.fujiiryoki.co.jp

FAX・Webでの受付けは24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。